



一部構成員限り

通信市場の動向について

令和 5 年 4 月 25 日
事 務 局

1. 契約数・事業者数の動向	…	2
2. 通信料金の動向	…	14
3. 利用者の動向	…	34
4. まとめ	…	65

1. 契約数・事業者数の動向

1 契約数

- ・ 2022年3月以降の市場全体の状況をみると、移動系通信（携帯電話、PHS及びBWA）の契約数は、2022年12月末には、2億774万契約（対前年同期比（以下同様）+3.6%）となっており、改正事業法施行年（2019年）同期比でも+12.4%となっている。
- ・ 移動系通信のうち、携帯電話の契約数は、2022年12月末で2億747万契約（+3.7%）、このうち、3.9-4世代携帯電話（LTE）の契約数は1億3,005万契約（▲8.7%）であり、2020年9月をピークに継続して減少している一方で、第5世代携帯電話（5G）の契約数は、2020年3月のサービス開始以降、継続して増加しており、2022年12月末で6,316万契約（+73.0%）となっている。
- ・ 事業法第27条の3の規律の対象となる移動電気通信役務に係る契約数は、2022年12月末で約1億2,400万契約であり、改正事業法施行年同月と比較すると、僅かに減少しているものの、スマートフォン向けの契約は、1億600万契約（+4.0%）となっており、改正事業法施行年同期比でも+18.3%となっている。また、移動電気通信役務全体に占める割合も増加している（2019年12月末：75.6%→2022年12月末：85.2%）。

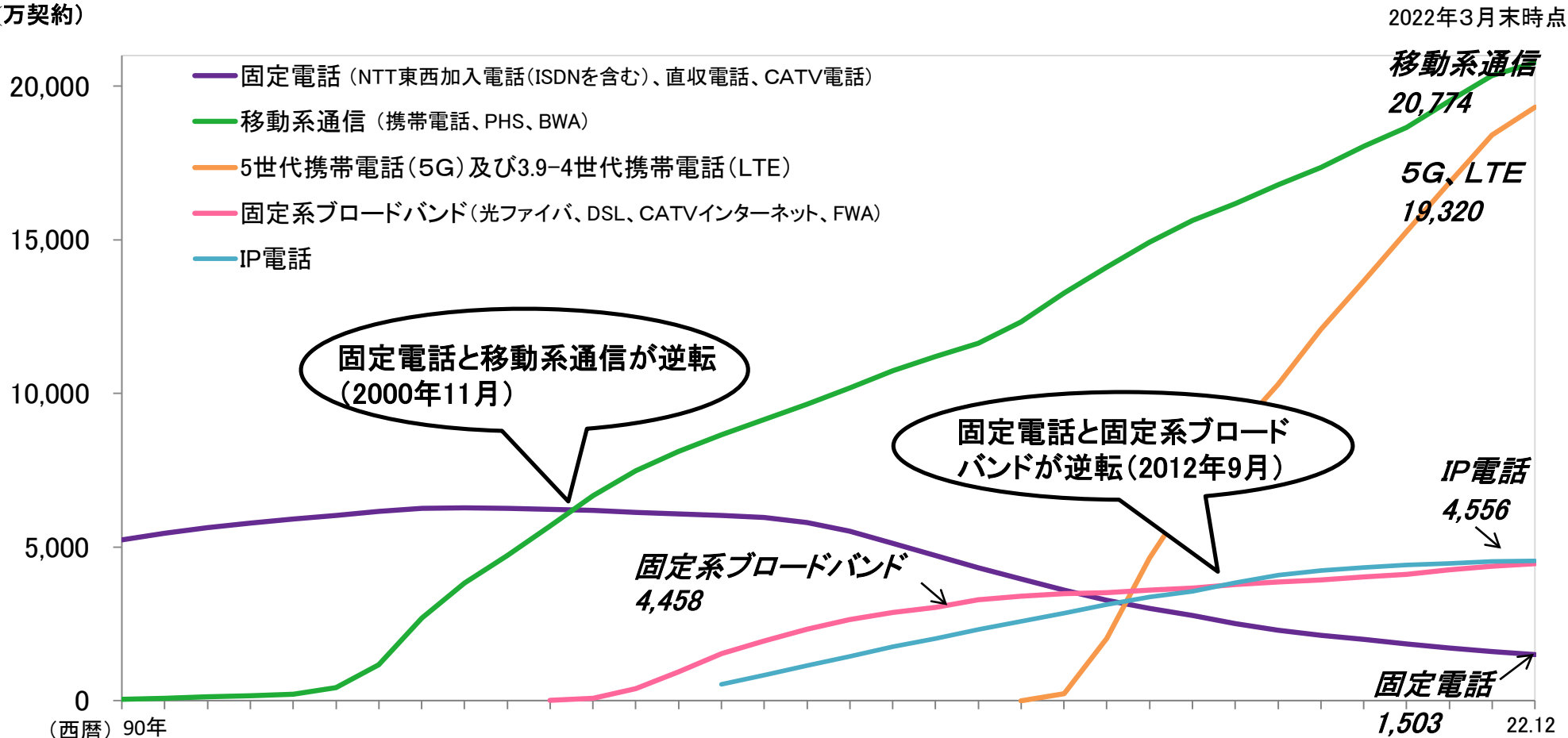
2 事業者

- ・ 2020年4月に楽天モバイルが本格サービスを開始して以降、我が国のMNOは4社（※1）となっている。また、MVNO事業者数は、2022年12月末で、1,732社（※2）であり、改正事業法施行年同期比で640社増加している。
 - ※1 NTTドコモ、KDDI（子会社として沖縄セルラーが存在）、ソフトバンク及び楽天モバイル
 - ※2 契約数3万未満である二次以降のMVNOのみから回線の提供を受けている契約数3万未満のMVNOの事業者数は含まない。
- ・ 移動系通信の契約数における事業者別シェアは、NTTドコモが36.1%（▲0.5ポイント）、KDDIグループが27.0%（▲0.1ポイント）、ソフトバンクが20.9%（±0ポイント）、楽天モバイルが2.2%（±0ポイント）、MVNOが13.8%（+0.6ポイント）となっている。

電気通信サービスの契約数の推移

- 移動系：移動系通信の契約件数は、2000年11月に固定電話契約数を抜き、その後、約20年間で約3倍に増加（20,774万件）。
- 固定系：固定電話契約数は、2012年9月に固定系ブロードバンドに逆転され、1997年11月のピーク時（6,322万件）の約2.5割に減少（1,503万契約）。

(万契約)

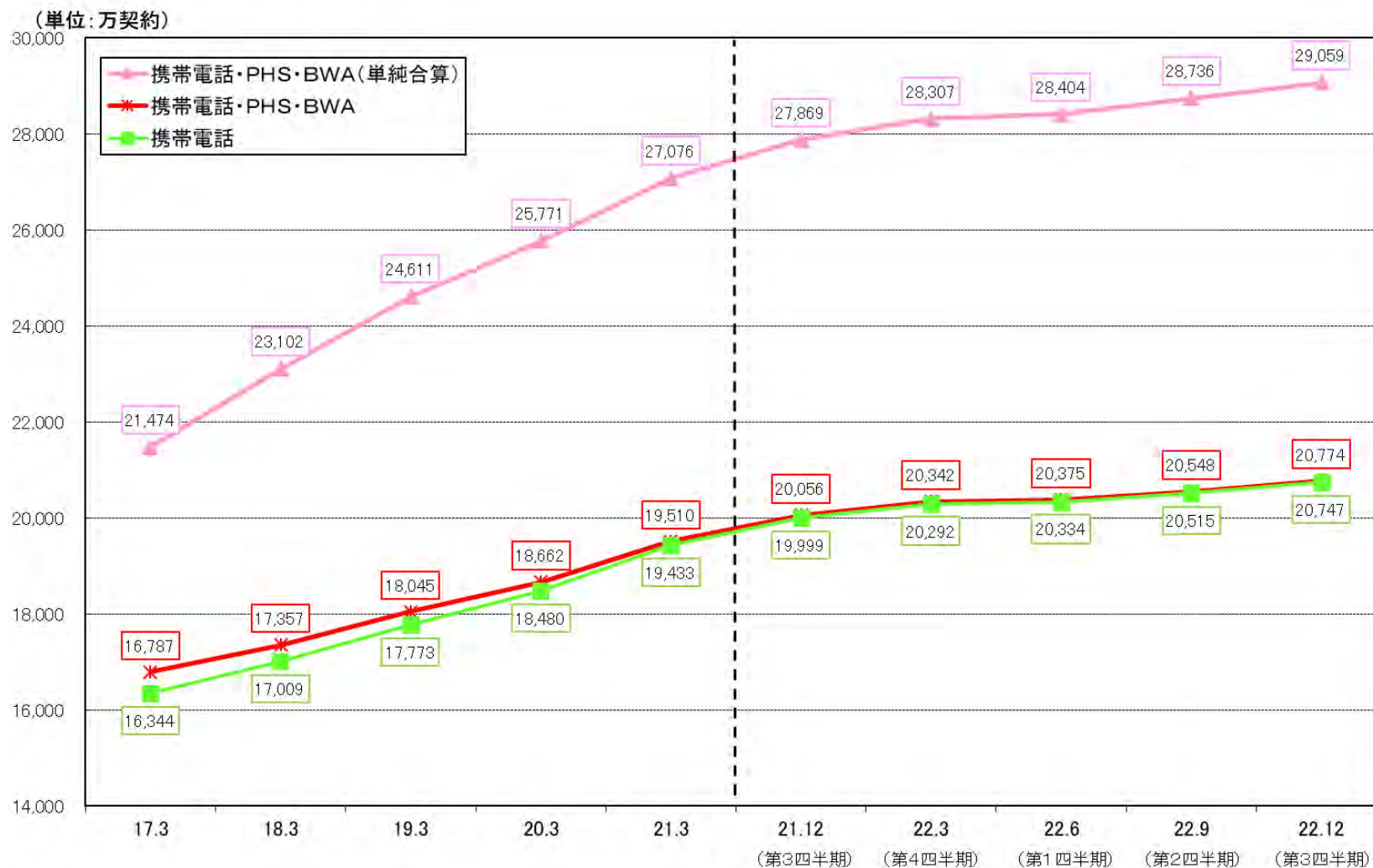


注1：各年は3月末時点の数字。

注2：移動系通信は、2013年度第2四半期以降グループ内取引調整後の契約数、2013年度第4四半期以降は携帯電話、PHSに加えBWAを含む契約数。

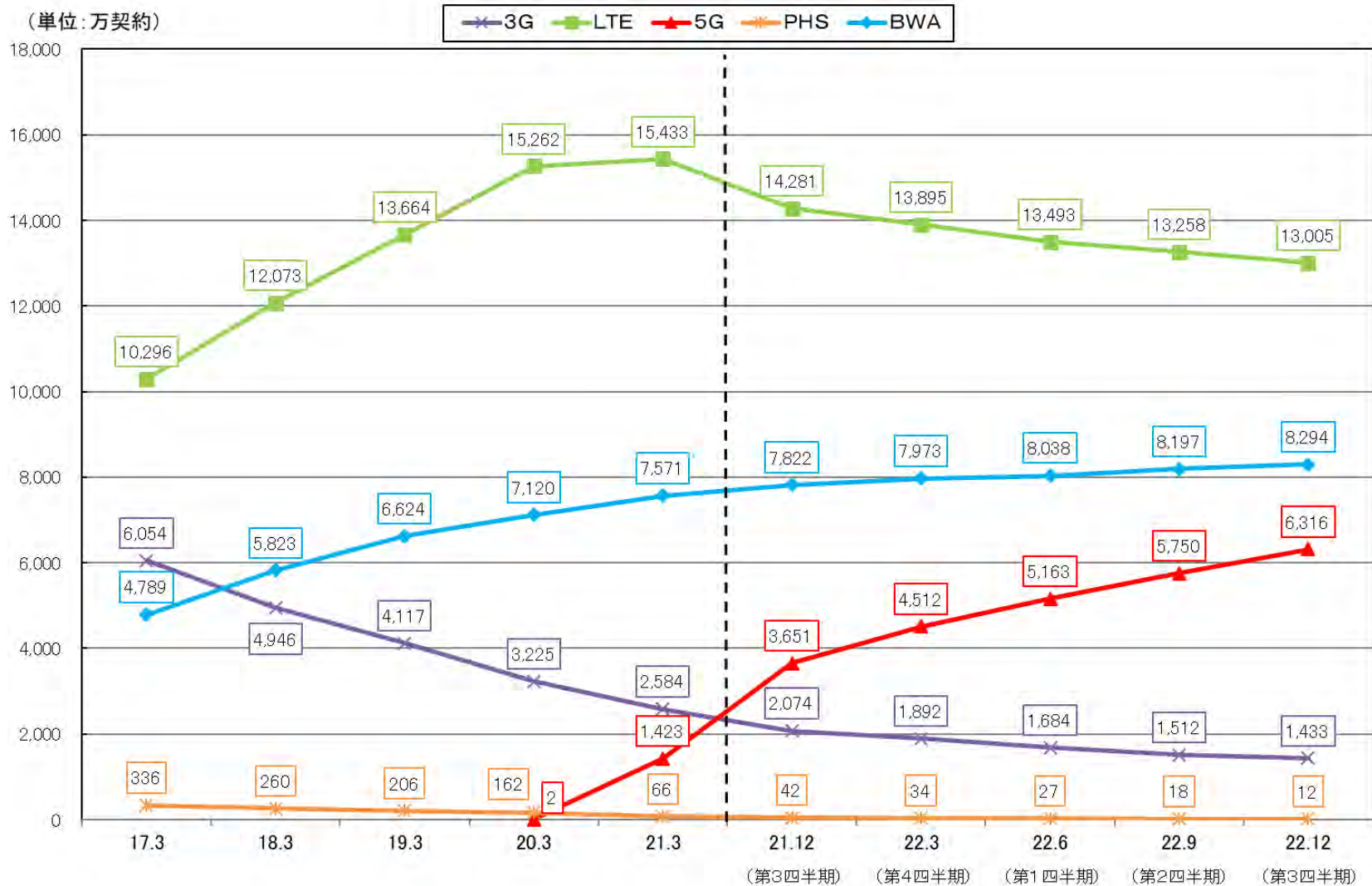
移動系通信の契約数の推移

- 移動系通信（携帯電話、PHS及びBWA）の契約数は前年同期比+3.6%、携帯電話の契約数は前年同期比+3.7%となっている。



3G・LTE・5G・PHS・BWAの各契約数の推移

○ LTEの契約数は2020年9月をピークとして減少する一方、5G契約数は継続して増加している。



- 電波の割当てを受け、自らネットワーク整備をしてサービスを提供する携帯電話事業者（MNO）：
NTTドコモ、KDDI（au）、ソフトバンク、楽天モバイル（2020年4月から本格サービス開始）
- MNOのネットワークを借りてサービスを提供する携帯電話事業者（MVNO）：1,732社
※ MNO：Mobile Network Operator、MVNO：Mobile Virtual Network Operator

MNO

（シェア86.2%）

移動系通信（携帯電話、PHS及びBWA）の契約数：2億774万

MVNO

（シェア 13.8%）

NTTドコモ

- ・シェア： 36.1%
- ・売上高： 4兆7,138億円
- ・営業利益： 9,279億円（営業利益率：19.7%）



KDDI グループ

- ・シェア： 27.0%
- ・売上高： 5兆4,467億円
- ・営業利益： 1兆 606億円（営業利益率：19.5%）



ソフトバンク

- ・シェア： 20.9%
- ・売上高： 5兆6,906億円
- ・営業利益： 9,857億円（営業利益率：17.3%）



楽天モバイル（2020年4月から本格サービス開始）

- ・シェア： 2.2%
- ・売上高： 2,275億円
- ・営業利益： ▲4,212億円（営業利益率：▲85.1%）



ネットワーク
の貸出し

ネットワーク
利用料の支払い

インターネットイニシアティブ
IIJ
Internet Initiative Japan

NTTレゾナント
OCN

オブテージ
mineo

ソニーネットワーク
コミュニケーションズ
nuromobile

※ 事業者数、契約数、シェアは2022年12月末時点。

※ 営業利益、売上高、営業利益率は、NTTドコモ、KDDI及びソフトバンクは2021年度、楽天モバイルは楽天グループ株式会社のモバイルセグメントの2021年の数値。

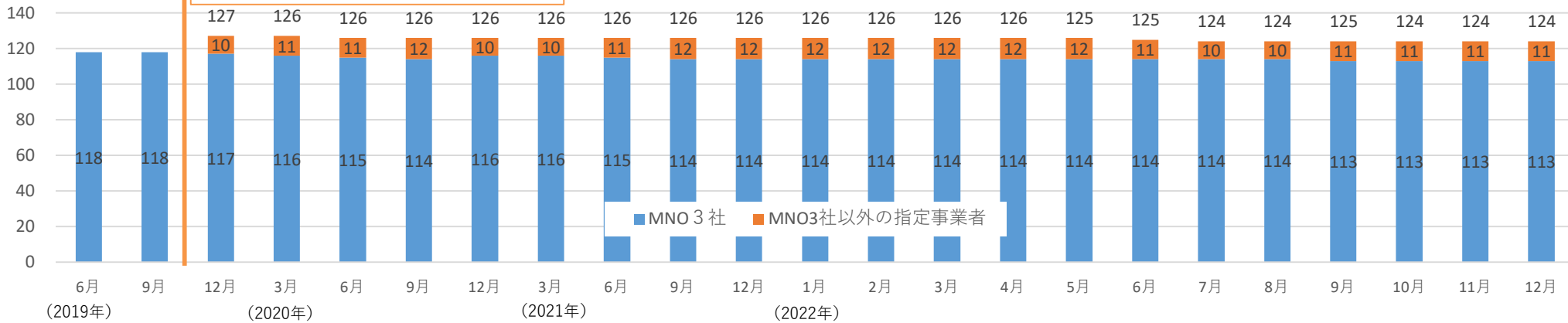
移動電気通信役務に係る契約数の推移

- 事業法第27条の3の規律の対象となる事業者の移動電気通信役務に係る契約数は、約1億2,400万契約であり、改正法施行後、僅かに減少している。
- スマートフォン向けの契約数は、約1億600万契約であり、改正法施行後、継続して増加している。

契約数の推移(全体)

(単位 百万件)

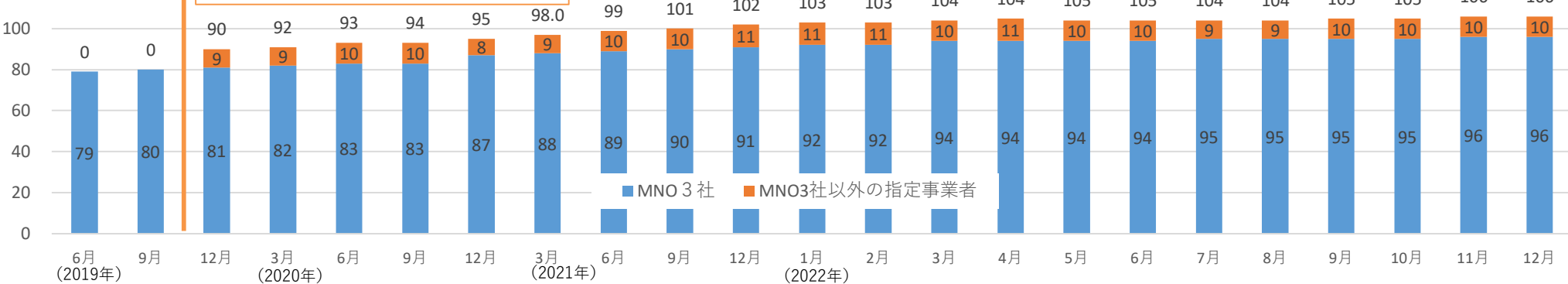
改正電気通信事業法施行 (2019年10月1日)



契約数の推移(スマートフォン向け)

(単位 百万件)

改正電気通信事業法施行 (2019年10月1日)



注1) 上図の値は移動電気通信役務の契約に係るものを示す。

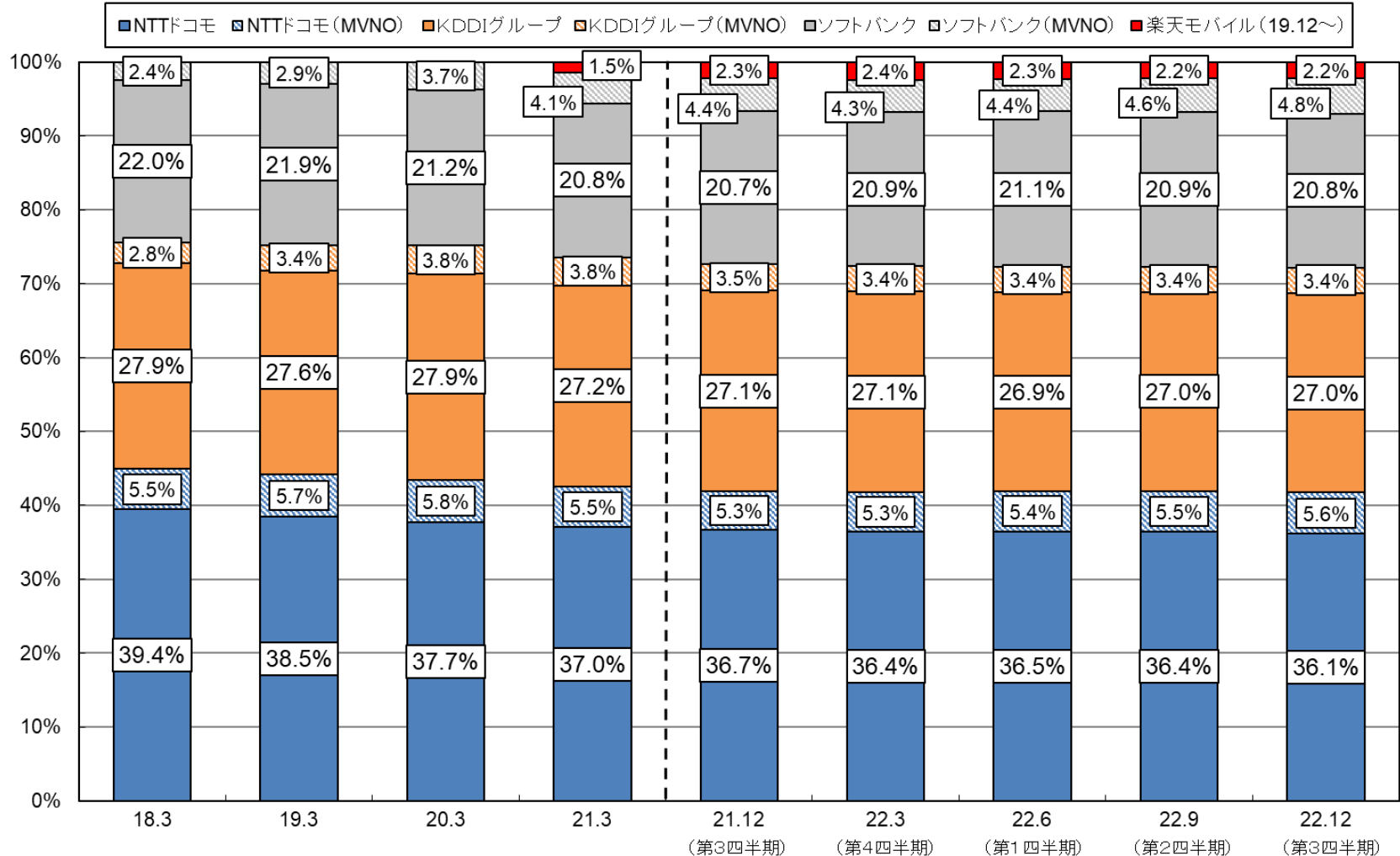
注2) MNO3社のうち、KDDIは沖縄セルラー電話株式会社の数を含み、2020年10月以降はUQモバイルの数も含む。

注3) 2019年4月から9月までの数値については、MNO3社以外の指定事業者から報告を求めているため、指定事業者合計の数値を記載していない。

出典: 電気通信事業報告規則に基づく報告及び報告徴収に基づく報告

事業者シェアの推移（移動系通信）

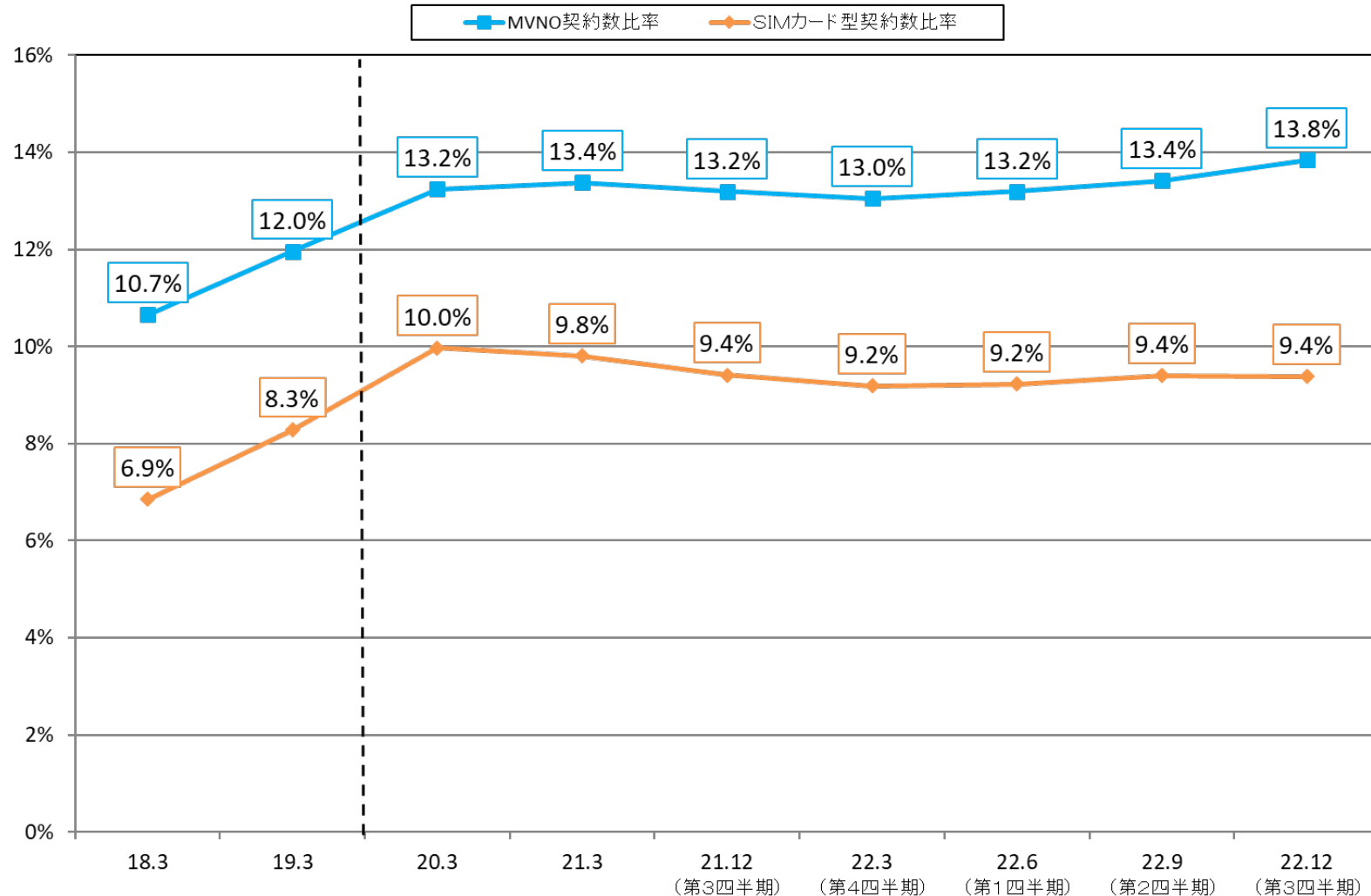
○ 2022年12月末時点のMNO 3社のシェアは、それぞれドコモ36.1%、KDDI27.0%、ソフトバンク20.8%であり、大きく変化していない。



注1：MNOが、同じグループに属する他のMNOの提供する移動通信サービスを利用して提供するものを除く。
 注2：「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズが含まれる。以下このページにおいて同じ。
 注3：MVNOのシェアを提供元のMNOグループごとに合算し、当該MNOグループ名の後に「(MVNO)」と付記して示している。
 注4：楽天モバイルが提供するMVNOサービスは、「NTTドコモ(MVNO)」及び「KDDIグループ(MVNO)」に含まれる。

- MVNOの契約数シェアは2020年3月以降ほぼ横ばいが続いている。

MVNOサービスの契約数比率及び MVNOが提供するSIMカード型の契約数比率の推移

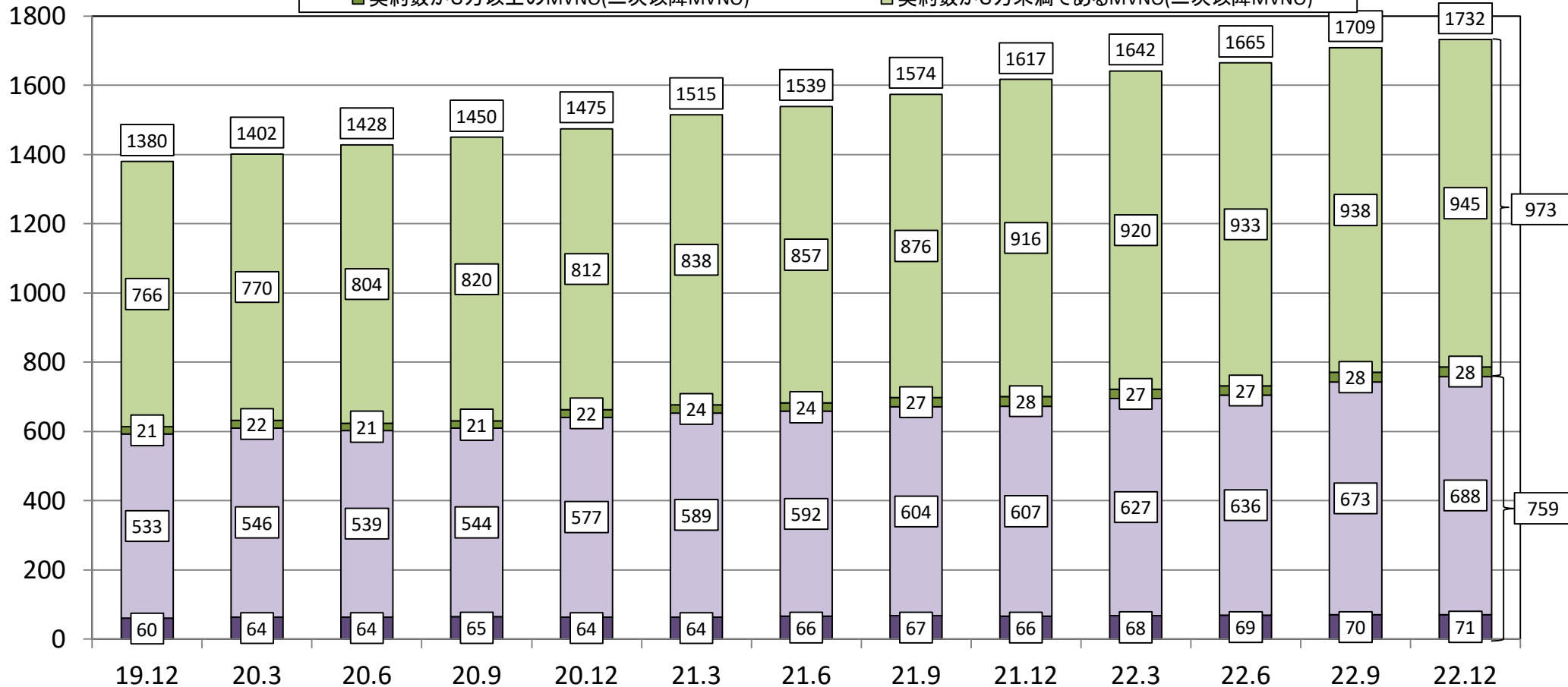


○ MVNOの事業者は2019年12月以降一貫して増加している。

MVNOサービスの事業者数の推移

(単位:事業者数)

■ 契約数が3万以上であるMVNO(一次MVNO)
 ■ 契約数が3万未満であるMVNO(一次MVNO)
 ■ 契約数が3万以上のMVNO(二次以降MVNO)
 ■ 契約数が3万未満であるMVNO(二次以降MVNO)



注1: MNO、一次MVNO及び提供している契約数が3万以上の二次以降MVNOからの報告を基に作成。
 注2: 契約数3万未満である二次以降のMVNOのみから回線の提供を受けている契約数3万未満のMVNOの事業者数は含まない。
 注3: 事業者報告の修正により、2020年度第4四半期以降の事業者数について修正を行っている。

電気通信事業法第27条の3等の規律の対象となる事業者は、以下のとおり。

- ① 次の携帯電話事業者（現行の告示（令和4年総務省告示第321号）では、下記表の計32社を指定している。）
 - ・ 電波の割当てを受けた携帯電話事業者（MNO）の全て
 - ・ MNOから無線ネットワークを借りてサービスを提供する携帯電話事業者（MVNO）のうちMNOの特定関係法人である者
 - ・ MVNOのうち契約者数のシェアが0.7%以上（契約者数で100万に相当）である者
- ② ①の携帯電話事業者の販売代理店

MNO	MVNO	
	MNOの特定関係法人 ←	その他MVNO
<ul style="list-style-type: none"> ・ NTTドコモ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ NTTコミュニケーションズ ・ NTTビジネスソリューションズ ・ NTTPCコミュニケーションズ ・ NTT BP ・ NTTメティアサプライ ・ NTTリミテッド・ジャパン ・ ドコモCS ・ NTTレゾナント 	<p>MNOの親会社、子会社、兄弟会社、1/3超の議決権保有等の実質的な支配関係のある関連会社等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IIJ ・ オプテージ ・ ○△事業者 ・ ×××事業者 ・ ... <p>↑ シェアが0.7%超</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ KDDI ・ 沖縄セルラー電話 ・ UQコミュニケーションズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジェイコム地域会社(11社)※ ・ ソラコム ・ 中部テレコミュニケーション ・ ビッグローブ 	<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; display: inline-block; font-size: 24px; color: red; font-weight: bold;">計32社</div>
<ul style="list-style-type: none"> ・ ソフトバンク 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヤフー 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽天モバイル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽天コミュニケーションズ 	

※ 大分ケーブルテレコム、ケーブルネット下関、ジェイコムウエスト、ジェイコム九州、ジェイコム埼玉・東日本、ジェイコム札幌、ジェイコム湘南・神奈川、ジェイコム千葉、ジェイコム東京、土浦ケーブルテレビ、横浜ケーブルビジョン

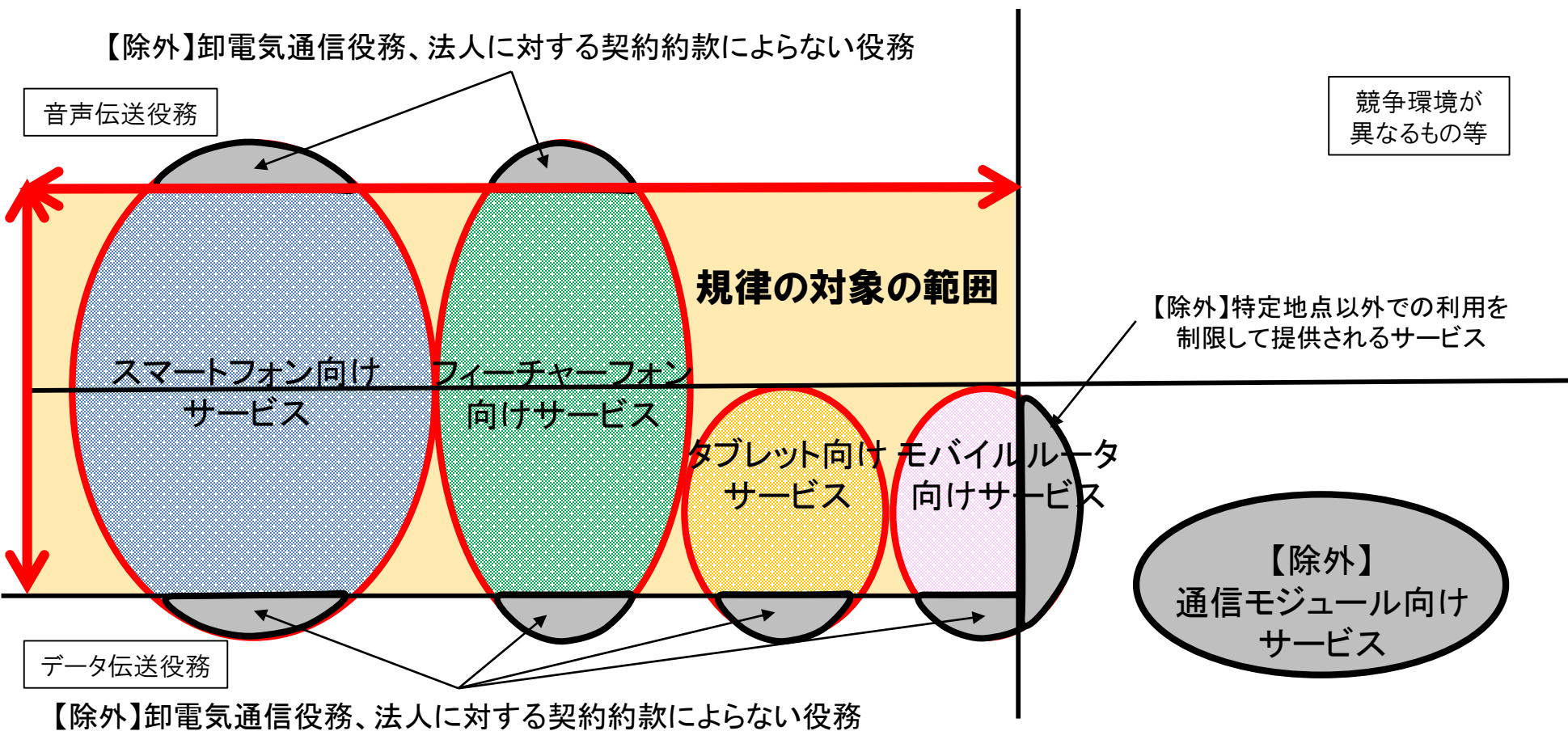
○ 禁止行為規律の対象となる移動電気通信役務として次の役務を指定。

- ・ 携帯電話サービス
- ・ 全国BWAサービス

※ 携帯電話サービス及び全国BWAサービスのうち、卸電気通信役務、法人に対して契約約款によらないで提供する役務、固定して使用されるモバイルルータ（固定ブロードバンドの代替となるサービス）、通信モジュール向けサービスを、個別に指定の対象から除外。

※ なお、PHSサービスや公衆無線LANサービス等は、携帯電話サービス及びBWAサービスとは異なる役務（指定の対象外）。

携帯電話サービス＋全国BWAサービス



【除外】卸電気通信役務、法人に対する契約約款によらない役務

2. 通信料金の動向

1 MNO各社の動き

- 2021年春にMNO各社から新料金プランの提供が開始されているところ、それ以降のMNO各社における主な動きは次のとおり（2022年春以降の動きは下線）。
 - ・ ソフトバンクは、2021年7月15日、LINEMOの新料金プランとして、月間通信容量3GB（月額900円）のミニプランの提供を開始。
 - ・ KDDIは、2021年9月29日、基本料金を0円とした上で、利用者が各自のニーズに応じてデータ通信容量や音声通話のトッピングを組み合わせたことのできるpovo2.0の提供を開始。
 - ・ NTTドコモは、2021年10月21日、エコミーMVNOとして、連携するMVNOが提供する小容量かつ低廉な料金プラン等のドコモショップにおける取扱いを開始。また、2022年6月9日、ahamoの容量増加オプションであるahamo大盛り（ahamoと合計で月間通信容量100GB、月額4,500円）の提供を開始。
 - ・ 楽天モバイルは、2022年7月1日、Rakuten UN-LIMIT VII（3GBまで～無制限の段階性プラン（月額980円～2,980円））の提供を開始。
 - ・ KDDIは、2023年2月1日、スマホミニプラン5G/4G（1GBから4GBまでの段階性プラン（月額3,150円～5,650円））の提供を開始。

2 MVNO各社の動き①

- MVNOにおいても同様に、2021年春以降の主な料金に関する動きは次のとおり。

【プラン】

- ・ 2021年4月1日、IIJが、月間通信容量2GB（月額780円）、4GB（月額980円）、8GB（月額1,380円）、15GB（月額1,680円）、20GB（月額1,880円）の新料金プラン（ギガプラン）の提供を開始。

※価格については税抜表示

2 MVNO各社の動き②

- 2021年4月1日、OCNモバイルONEが、月間通信容量1GB（月額700円）、3GB（月額900円）、6GB（月額1,200円）、10GB（月額1,600円）の新料金プランの提供を開始。
- 2021年4月1日、NUROモバイルが、月間通信容量3GB（月額720円）、5GB（900円）、8GB（月額1,350円）（5GB及び10GBのプランには3ヶ月毎にGB追加）の新料金プラン（バリュープラス）の提供を開始。
- 2021年4月1日、イオンモバイルが、月間通信容量500MBから50GBまで計15プラン（月額730円から4,780円）の新料金プラン（さいてきプラン、さいてきプランMORIMORI）の提供を開始。
- 2021年6月3日、日本通信が、月間通信容量6GB、通話無料70分（月額1,264円）の新料金プラン（合理的みんなのプラン）の提供を開始。
- 2021年7月1日、BIGLOBEが、月間通信容量50GB（月額2,480円）の新料金プラン（donedone）の提供を開始。
- 2021年10月1日、BIGLOBEが、月間通信容量1GB（月額980円）、3GB（月額1,200円）、6GB（月額1,700円）の新料金プランの提供を開始。
- 2021年10月1日、イオンモバイルが、音声プランの一律値下げ（200円）を実施。
- 2021年10月1日、y.u mobileがU-NEXT付き月間通信容量10GB（月額2,970円）の新プラン（シングルU-NEXT）の提供を開始。
- 2021年10月1日、y.u mobileがプラン及びデータチャージ料金を値下げ（5GB、シングル（月額1,639円から1,070円）、20GB、シェアU-NEXT（月額4378円から4170円）10GBチャージ（1,650円から1,200円））を実施

2 MVNO各社の動き③

- 2021年10月21日、NTTコミュニケーションズが、OCNモバイルONEをドコモのエコノミーMVNOとして提供を開始するとともに、月間通信容量500MB（月額500円）の新料金プランの提供を開始。
- 2021年11月1日、NUROモバイルが、月間通信容量20GB（3ヶ月毎に15GB付与、月額2,454円）の新料金プラン（NEOプラン）の提供を開始。
- 2021年12月1日、NUROモバイルが、既存のVLプラン（月額1,350円）の容量の増加（月間通信容量8GBから10GB）を実施。
- 2021年12月22日、DTIがドコモのエコノミーMVNOとして、TONE for iPhoneを、2022年2月24日、TONE for Androidの提供を開始。
- 2022年1月27日、日本通信が、月間通信容量1GB（月額264円、従量制）の新料金プラン（合理的シンプル290）の提供を開始。
- 2022年3月7日、オプテージが、最大1.5Mbps（月額900円）と最大3Mbps（月額2,000円）の通信速度を選べる新料金プラン（マイそく）の提供を開始。
- 2022年4月1日、NUROモバイルが、月間通信容量20GB（月額1,900円）の新料金プラン（NEOプラン Lite）の提供を開始。
- 2022年4月1日、IIJが、ギガプランの値下げ（2ギガプラン（月額780円から773円）、4ギガプラン（月額980円から900円）、8ギガプラン（月額1,380円から1,364円）、15ギガプラン（月額1,680円から1,637円）、20ギガプラン（月額1,880円から1,819円））を実施。
- 2022年4月1日、イオンモバイルが、音声プランの値下げ（20GB（月額1,980円から1,780円）、30GB（月額3,780円から2,780円）、40GB（月額4,780円から3,780円）、50GB（月額5,780円から4,780円））を実施。

2 MVNO各社の動き④

- 2022年8月24日、オプテージが最大速度300kbpsの新料金プラン（マイそくライト（月額600円））の提供を開始
- 2022年10月13日、NUROモバイルがかけ放題付き月間通信容量1GBの新料金プラン（月額1,700円）の提供を開始
- 2023年2月22日、オプテージが最大速度32kbpsの新料金プラン（マイそくスーパーライト（月額228円））の提供を開始
- 2023年4月1日、IIJが、ギガプランの4ギガプラン（月額900円）と8ギガプラン（月額1,364円）で容量の増加（4ギガプランから5ギガプラン、8ギガプランから10ギガプラン）を実施。

【通話オプション等】

- 2021年6月1日、イオンモバイルがイオンでんわ5分かけ放題（月額500円）の提供を開始。
- 2021年9月11日、IIJが通常通話料金の値下げ（20円/30秒から10円/30秒）を実施。
- 2021年10月1日、イオンモバイルが音声通話料金の値下げ（20円/30秒から10円/30秒）を実施。
- 2021年11月26日、イオンモバイルがフルかけ放題（月額1,500円）の提供を開始。
- 2021年12月7日、IIJが通話プランの改定（通話定額5分（月額455円）、通話定額10分（月額637円））及びかけ放題プラン（月額1,273円）の提供を開始。
- 2021年12月27日、DTIが音声通話かけ放題（月額950円）を実施。
- 2021年12月27日、日本通信が、合理的20GBプランに対する通話かけ放題（月額1,091円）の提供を開始。

2 MVNO各社の動き⑤

- 2022年1月1日、y.u mobileが通話オプションの値下げ（10分かけ放題（月額780円から500円）、無制限かけ放題（月額2,700円から1,273円））を実施。
- 2022年1月27日、日本通信が合理的シンプル290に対する通話無料70分（月額637円）、通話かけ放題（月額1,455円）の提供を開始。
- 2022年12月21日、オプテージが、10分かけ放題（月額500円）及び時間無制限かけ放題（月額1,100円）の提供を開始。
- 2022年12月21日、NUROモバイルが、無制限のかけ放題オプション（月額1,300円）の提供を開始。
- 2023年2月1日、オプテージが10分通話パック（月額100円）の提供を開始。
- 2023年3月17日、オプテージが22時30分～翌7時30分のデータ通信が使い放題になる「夜間フリー」オプション（月額900円）の提供を開始。

MNOの新しい料金プラン

(特に記載のない限り、価格は税抜。)

20

(2023年4月1日時点)

	NTTドコモ		KDDI		ソフトバンク			楽天モバイル
	alamo		UQ mobile くりこしプラン+5G L	povo2.0	Y!mobile シンプルL	LINEMO スマホプラン	LINEMO ミニプラン	Rakuten UN-LIMIT VII
	ahamo大盛り							
開始時期	2021年 3月26日	2022年 6月9日	2021年 9月2日	2021年 9月29日	2021年 2月18日	2021年 3月17日	2021年 7月15日	2022年 7月1日
月間通信容量	20GB	20GB+80GB (大盛りオプション)	25GB	1GB~の選択制 ^{※1}	25GB	20GB ^{※2}	3GB ^{※2}	無制限 ^{※3}
容量超過後の 通信速度	1Mbps	1Mbps	1Mbps	128kbps ^{※4}	1Mbps	1Mbps	300kbps	—
月額利用料	2,700円	2,700円+1,800円 (ahamo+大盛りオプション)	3,480円	900円(3GB)~ 2,455円(20GB) 等	3,780円	2,480円	900円	~3GB:980円 3~20GB:1,980円 20GB~:2,980円
音声	— ^{※5} (1回5分以内 国内通話 かけ放題込み)	— ^{※5} (1回5分以内 国内通話 かけ放題込み)	800円 ^{※6} (1回10分以内 国内通話かけ放題 オプション)	500円 ^{※7} (1回5分以内 国内通話かけ放題 オプション)	700円 ^{※8} (1回10分以内 国内通話かけ放題 オプション)	500円 ^{※7} (1回5分以内 国内通話かけ放題 オプション)	500円 ^{※7} (1回5分以内 国内通話かけ放題 オプション)	— ^{※9} (Rakuten Link利用時の 国内通話かけ放題)
受付チャネル	Webのみ (有償 ^{※10} で店頭サポート)	Webのみ (有償 ^{※10} で店頭サポート)	店頭及びWeb	Webのみ	店頭及びWeb	Webのみ	Webのみ	店頭及びWeb
キャリアメール	利用不可	利用不可	200円/月のオプションで 利用可能	利用不可	利用可能	利用不可	利用不可	利用可能
月額料金 (合計) <small>※11</small>	2,700円 (税込2,970円)	4,500円 (税込4,950円)	4,180円 (税込4,598円)	1,400円~ 2,955円 (税込1,540円~ 3,250円)等	4,480円 (税込4,928円)	2,980円 (税込3,278円)	1,400円 (税込1,540円)	980円~2,980円 (税込1,078円~3,278円)

- ※1 基本料ゼロ円のベースプランに、1GB~150GBのデータ容量(7日間~180日間の有効期限内)、または24時間データ使い放題のトッピングを必要に応じ、選択して購入
 ※2 LINEは通信容量の消費なく利用可能 ※3 楽天回線以外のローミングエリアでは、月間通信容量5GB(超過した場合、通信速度が1Mbpsに制限) ※4 トッピングによるデータ容量の追加などがない場合の通信速度
 ※5 1,000円/月で国内通話かけ放題となるオプションも提供 ※6 500円/月で国内通話60分/月が無料となるオプション、1,700円/月で国内通話かけ放題となるオプションも提供
 ※7 1,500円/月で国内通話かけ放題となるオプションも提供 ※8 1,700円/月で国内通話かけ放題となるオプションも提供 ※9 1,000円/月で1回15分以内国内通話かけ放題及び国内SMS使い放題となるオプションも提供
 ※10 申込みサポート及び手続きサポートをそれぞれ3,000円/回で実施 ※11 各プランの「月額利用料」と「音声」の合計額

出典：各社HP

MVNOの新しい料金プラン①

(特に記載のない限り、価格は税抜。)

21

(2023年4月1日時点)

社名		IIJ		オプテージ (mineo)			OCNモバイルONE		NUROモバイル													
プラン名		ギガプラン (音声)		マイビタ(音声+データ通信)		マイそく		音声対応SIMカード		バリュープラス/かけ放題		NEOプラン										
開始時期		2021年4月1日		2021年2月1日		2022年3月7日 2022年8月24日 (ライト) 2023年2月22日 (スーパーライト)		2021年4月1日 2021年10月 (500MB/月コース)		2021年4月1日 2022年10月13日 (かけ放題プラン)		2021年11月1日 2022年4月1日 (NEOプランLite) 2023年3月8日 (NEOプランW)										
データ通信	基本通話料+データ通信量	用途	定額		定額		定額		定額		定額		定額									
		～500MB	2ギガプラン	773円	1GB	1,180円	スーパーライト 最大32kbps	228円	500MB/月コース	500円	かけ放題プラン 1GB	1,700円	NEOプラン Lite20GB	1,900円								
		～1GB							1GB/月コース	700円					VSプラン3GB	720円						
		～2GB							3GB/月コース	900円												
		～3GB	5ギガプラン	900円	5GB	1,380円	ライト 最大300kbps	600円	6GB/月コース	1200円	VMプラン5GB	900円	NEOプラン 20GB	2,454円								
		～4GB							10ギガプラン	1,364円					10GB	1,780円	スタンダード 最大1.5Mbps	900円	10GB/月コース	1600円	VLプラン10GB	1,350円
		～5GB	15ギガプラン	1,637円	20GB	1,980円	プレミアム 最大3Mbps	2,000円			-	-	-	-								
		～6GB									～20GB	-	-	-					-	-		
		～7GB	～30GB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
		～8GB	～40GB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
		～9GB	～50GB	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-								
		～10GB	追加	200円/1GB (最大20GB)		50円/100MB		24時間使い放題	180円/1回	500円/1GB		500円/1GB		500円/1GB								
		～12GB	上限超過時の通信速度 (最大)	300kbps		200kbps		-		200kbps		200kbps		1Mbps								
		～14GB	通話料通常料金	10円/30秒		20円/30秒 (mineoでんわ (専用アプリ) 使用時※1は10円/30秒)			10円/30秒 (OCNでんわ発信対象外の場合、20円/30秒)		20円/30秒 (NUROモバイルでんわ (専用アプリ) 使用時※1は10円/30秒)											
～15GB	音声通話 オプション	プラン名	通話定額オプション			通話オプション			OCNでんわかけ放題		通話定額オプション (かけ放題はドコモ回線au回線のみかつオートプレフィクス通話のみ)											
提供開始日		2016年9月1日			2022年3月1日 (10分通話パックは2023年2月1日)			2016年8月1日		2017年2月1日												
通話定額5分+		455円	10分通話パック			100円			10分かけ放題	850円	5分かけ放題	445円										
通話定額10分+		637円	10分かけ放題			500円			トップ3かけ放題	850円	10分かけ放題	800円										
かけ放題+	1,273円	時間無制限かけ放題			1,100円			完全かけ放題	1,300円	かけ放題	1300円											
合計※3	773円～3,092円			1,180円～3,080円			228円～3,100円		500円～2,900円		720円～2,650円		1,900円～4,918円									
受付チャネル	Web・店頭			Web・店頭			Web・店頭		Web・店頭													
5G提供状況	利用可 (無料)			利用可 (無料)			利用可 (無料)		利用可 (無料)													
eSIM対応状況	対応済 (タイプA(au網のみ) ※4)			対応済 (ドコモ回線プラン及びau回線プランのみ) ※4			未対応		未対応													
備考							・月曜から金曜の12時から13時までは最大32kbps ・直近3日間で10GB以上の使用があった場合、最大速度32kbpsに制限する場合あり。				・VMプランは3GB、VLプランは6GBが3ヶ月ごとに追加で追加で受け取り可能。		NEOプランは15GBが3ヶ月ごとに追加で追加で受け取り可能。									

- ※1 専用アプリの使用に替えて、プレフィクス番号を先頭につけて発信する場合も適用される。
- ※2 黄色の網掛けの箇所は、2021年9月以降に、プラン等の新設、変更があった場所。
- ※3 合計はデータ通信料金及び音声通話料金を足した額 (ただし、追加データ料金及び通話料通常料金は考慮しない。)
- ※4 別途発行手数料が発生。

※税抜価格

MVNOの新しい料金プラン②

(特に記載のない限り、価格は税抜。)

22

(2023年4月1日時点)

社名		y.u mobile		JCOM		BIGLOBE										
プラン名		シングルプラン		AプランST/AプランSU		音声通話SIM		donedone								
開始時期		2021年3月12日		2021年2月18日 (AプランST) 2023年2月21日 (AプランSU)		2021年4月19日		2021年7月1日								
データ通信	基本通話料+データ通信量	用途	定額		定額		定額		定額							
		~500MB	シングル5GB	973円	1GB	980円	1GB	980円	50GB	2,480円						
		~1GB														
		~2GB														
		~3GB														
		~4GB														
		~5GB														
		~6GB														
		~7GB														
		~8GB														
		~9GB														
		~10GB									シングル U-NEXT10GB	2,700円	10GB	1,980円	12GB	3,400円
		~12GB														
		~14GB														
~15GB																
~20GB	シェア U-NEXT 20GB	3,791円	20GB	2,480円	20GB	5,200円										
~30GB	—	—	—	—	30GB	7,450円										
~40GB	—	—	—	—	—	—										
~50GB	—	—	—	—	—	—										
追加	300円/1GB、1,091円/10GB		200円/500MB、300円/1GB		300円/100MB		—									
上限超過時の通信速度 (最大)	128kbps		200kbps,1Mbps		200kbps		1 Mbps									
音声通話	音声通話オプション	通話料通常料金	20円/30秒 (y.uでんわ (専用アプリ) 使用時※1は10円/30秒)		20円/30秒		20円/30秒 (BIGLOBEアプリ (専用アプリ) 使用時※1は9円/30秒)		20円/30秒							
		プラン名	通話オプション (要専用アプリ※1)		かけ放題オプション		通話パック・かけ放題オプション (要専用アプリ※1)		—							
		提供開始日	2021年3月12日		2020年12月2日		2018年3月1日		—							
			10分かけ放題	500円	かけ放題 (5分/回)	500円	通話パック60	600円	—							
			無制限かけ放題	1,273円	かけ放題 (60分/回)	1,500円	通話パック90	830円	—							
							3分かけ放題	600円	—							
					10分かけ放題	830円	—									
合計※3		973円~5,004円		980円~3,980円		980円~8,280円		2,480円								
受付チャネル		Web・店頭		Web・店頭・訪問対応 (AプランSUはWebのみ)		Web・店頭										
5G提供状況		利用不可		利用可 (無料)		利用可 (無料)										
eSIM対応状況		未対応		対応済		未対応										
備考								・最大通信速度3MbpsのベーシックUプラン又は対象のアプリから選んだ3つが速度無制限 (他は1Mbps)のカスタムUプランを選択・切替可。								

※1 専用アプリの使用に替えて、プレフィックス番号を先頭につけて発信する場合も適用される。

※2 黄色の網掛けの箇所は、2021年9月以降に、プラン等の新設、変更があった場所。

※3 合計はデータ通信料金及び音声通話料金を足した額 (ただし、追加データ料金及び通話料通常料金は考慮しない。)

※4 別途発行手数料が発生。

※税抜価格

MVNOの新しい料金プラン③

(特に記載のない限り、価格は税抜。)

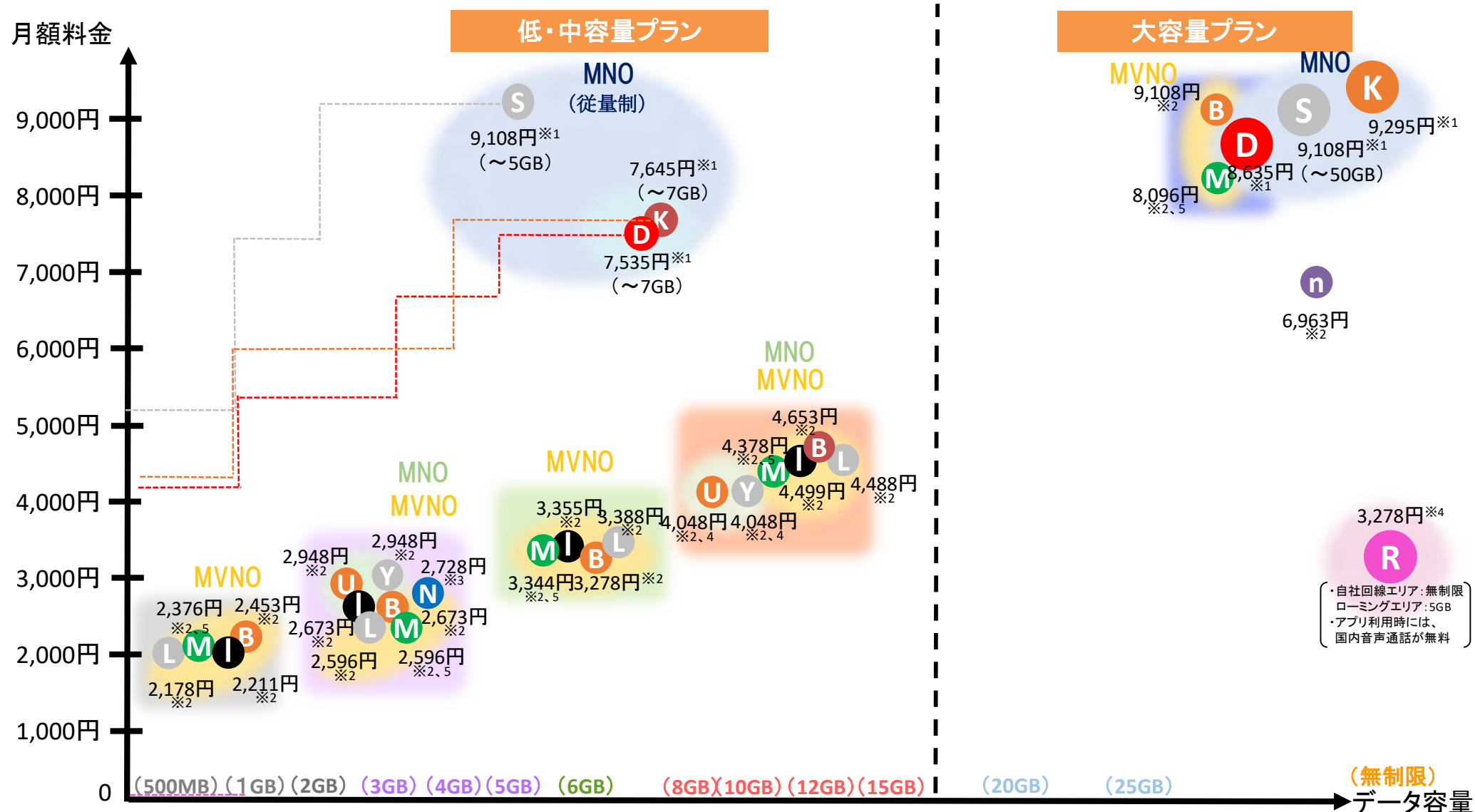
23

(2023年4月1日時点)

社名		日本通信		イオンモバイル		DTI				
プラン名		合理的20GB、合理的みんなのプラン、合理的シンプル290		音声プラン (さいてきプラン、さいてきプランMORIMORI)		TONEモバイル基本プラン		TONE for iPhone,TONE for Android		
開始時期		2020年12月10日 (合理的20GBプラン) 2021年6月3日 (合理的みんなのプラン) 2022年1月27日 (合理的シンプル290プラン)		2021年4月1日		2021年3月1日		2021年12月22日 (TONE for iPhone) 2022年2月24日 (TONE for Android)		
データ通信	基本通話料+データ通信量	用途	定額		定額		定額		定額	
		～500MB	シンプル290プラン	264円	500MB	730円	動画以外インターネット使い放題	1,000円	動画以外インターネット使い放題	1,000円
		～1GB			1GB	780円				
		～2GB			2GB	880円				
		～3GB	みんなのプラン	1,264円	3GB	980円				
		～4GB			4GB	1,080円				
		～5GB			5GB	1,180円				
		～6GB			6GB	1,280円				
		～7GB			7GB	1,380円				
		～8GB	20GBプラン	1,980円	8GB	1,480円				
		～9GB			9GB	1,580円				
		～10GB			10GB	1,680円				
		～12GB								
		～14GB	-	-	20GB	1,780円				
		～15GB			30GB	2,780円				
～20GB	40GB	3,780円								
～30GB			50GB	4,780円						
～40GB										
～50GB										
追加	250円/1GB(ただし、シンプル290プランは200円/1GB)		480円/1GB		300円/1GB (動画視聴用)		300円/1GB (動画視聴用)			
上限超過時の通信速度 (最大)		非公表		200kbs		非公表		非公表		
音声通話	通話料通常料金		10円/30秒		10円/30秒 (ドコモ回線は (イオン電話 (専用アプリ) 使用)		10円/30秒 (カメラのキタムラで購入した場合、17円/30秒)		10円/30秒 (カメラのキタムラで購入した場合、17円/30秒)	
	オプション	プラン名	国内通話定額		えらべる通話定額かけ放題 (要専用アプリ※1)		090電話かけ放題オプション		音声通話かけ放題オプション※	
		提供開始日	2021年12月27日 (20GBプラン)、2022年1月27日 (シンプル290プラン)		2017年3月1日		2021年3月1日		2021年12月22日、2022年2月24日	
		70分無料	637円	5分かけ放題	500円	5分以内	950円	5分以内	700円	
		かけ放題(20GBプラン)	1,091円	10分かけ放題	850円	TONE電話かけ放題オプション (IP電話)		TONE電話かけ放題オプション (IP電話)		
	かけ放題(シンプル290プラン)	1,455円	フルかけ放題	1,500円	2016年12月1日		2021年12月22日、2022年2月24日			
合計※3	264円～3,071円		730円～6,280円		1,000円～1,950円		1,000円～1,700円			
受付チャネル	Web・店頭		Web・店頭		Web・店頭		Web・店頭			
5G提供状況	利用可 (無料)		利用可 (無料)		利用可 (無料)		利用可 (無料)			
eSIM対応状況	対応済※4		未対応		未対応		未対応			
備考	・みんなのプラン及び20GBプランには無料通話70分の料金も含まれる。		・2022年4月1日に20GB以上のプランを値下げ。							

- ※1 専用アプリの使用に替えて、プレフィックス番号を先頭につけて発信する場合も適用される。
- ※2 黄色の網掛けの箇所は、2021年9月以降に、プラン等の新設、変更があった場所。
- ※3 合計はデータ通信料金及び音声通話料金を足した額 (ただし、追加データ料金及び通話料通常料金は考慮しない。)
- ※4 別途発行手数料が発生。

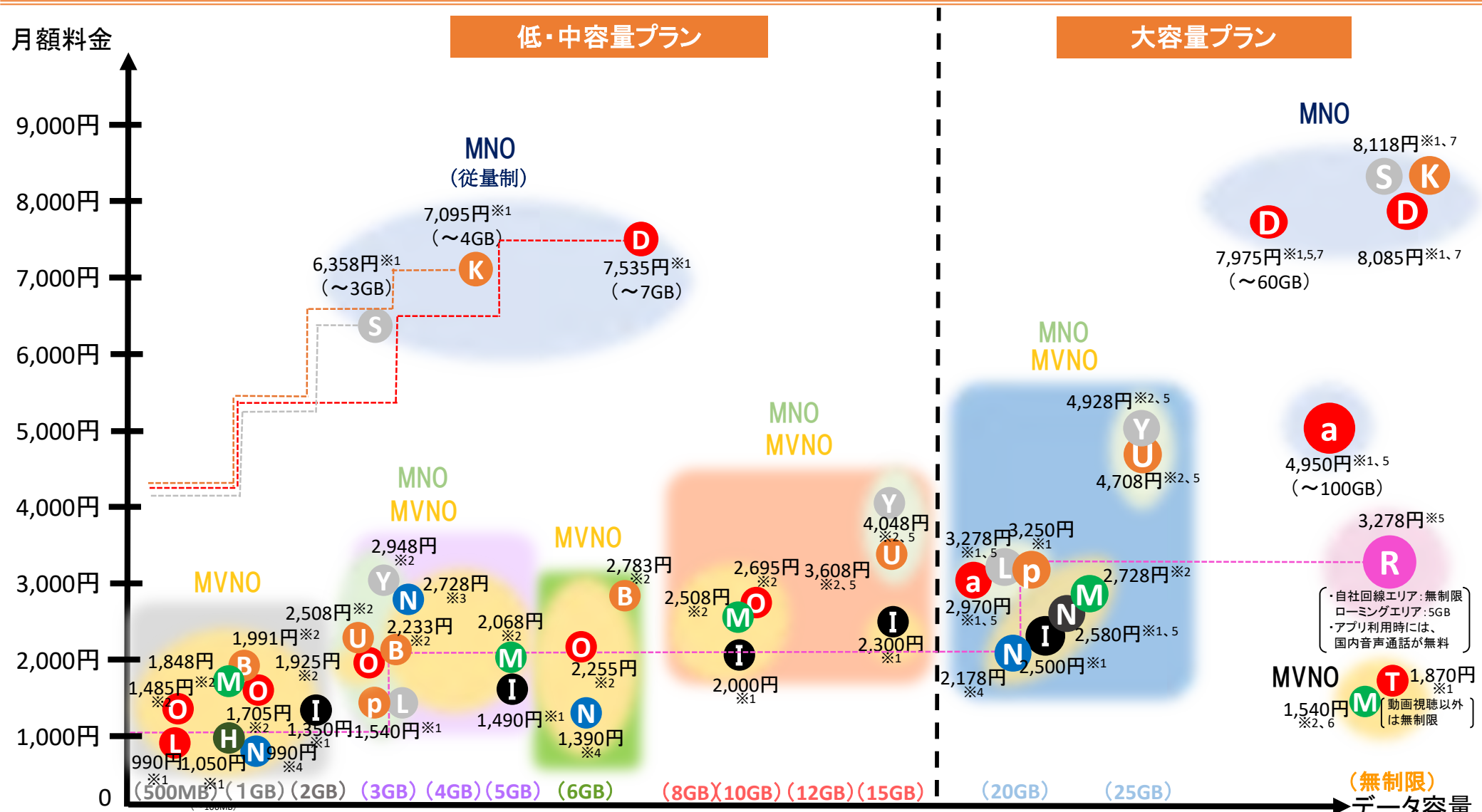
※税抜価格



・自社回線エリア:無制限
ローミングエリア:5GB
・アプリ利用時には、国内音声通話が無料

- D: NTTドコモ
- S: SoftBank
- L: LINEモバイル
- Y: Y!mobile
- R: 楽天モバイル
- I: IIJ
- M: mineo(オプテージ)
- N: 日本通信
- n: ニフティ
- K: au
- U: UQmobile
- B: BIGLOBE [KDDI系列のMVNO]

注: 音声あり・期間拘束なしプランで比較。価格は全て税込。 ※1: 1回5分以内の国内通話無料。 ※2: 1回10分以内の国内通話無料。 ※3: 国内通話かけ放題。
※4: 月間データ利用量が契約容量を超過した場合の通信速度は、送受信時最大1Mbps。 ※5: オプテージは、au回線プラン利用時の料金。



- D** : NTTドコモ | **a** : ahamo | **O** : OCNモバイルONE (NTTレゾナント) [ドコモのエコノミー-MVNO] | **T** : トーンモバイル (フリービット) [ドコモのエコノミー-MVNO] | **L** : LIBMO (TOKAI) [ドコモのエコノミー-MVNO] | **K** : au | **p** : povo | **U** : UQmobile
- B** : BIGLOBE [KDDI系列のMVNO] | **S** : SoftBank | **L** : LINEMO | **Y** : Y!mobile | **R** : 楽天モバイル | **I** : IIJ | **M** : mineo (オプテージ) | **N** : 日本通信 | **N** : NUROモバイル | **H** : HIS

注: 音声あり・期間拘束なしプランで比較。価格は全て税込。 ※1: 1回5分以内の国内通話無料。 ※2: 1回10分以内の国内通話無料。 ※3: 国内通話かけ放題。 ※4: 国内通話月70分無料。
 ※5: 月間データ利用量が契約容量を超過した場合の通信速度は、送受信時最大1Mbps。 ※6: 最大1.5Mbps (平日12~13時は32kbps) ※7: データ利用料が3GB以下の月は1,650円割引 (出典: 各社HPを基に総務省作成)

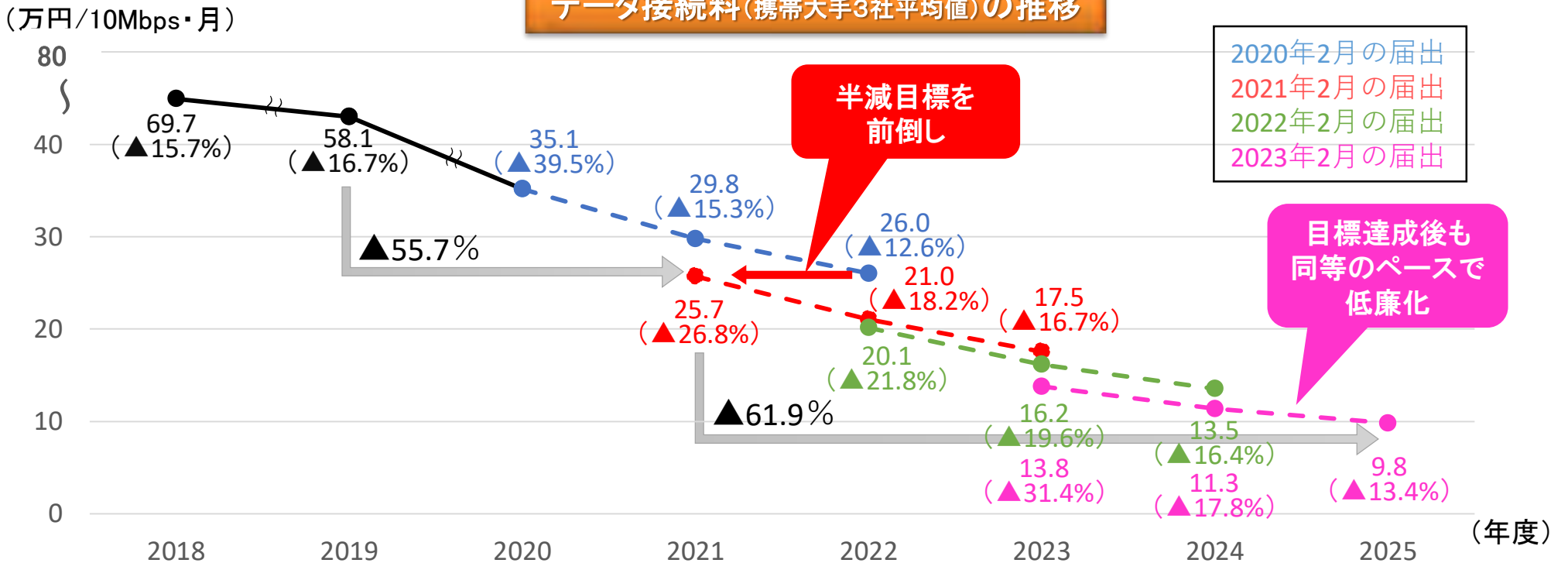
3 MNOによる接続料の低廉化等

- このようにMVNOが多様な料金プランを提供できるようになった背景としては、将来原価方式の導入等によるデータ接続料の低廉化や2021年4月以降に行われたモバイル音声卸の料金の引下げ等が挙げられる。これによりMVNO各社の創意工夫の余地が拡大し、ごく小容量から無制限までの様々な通信容量と通信速度を組み合わせた料金プランや音声定額プランといった新たな料金プランが多数提供されるようになった。
- MNOの接続料等の適正化を確保するための新たな取組として、2023年3月の音声接続料の届出に合わせて廉価プランに対するモバイルスタックテストが実施され、同年6月には特定卸電気通信役務に係る規律が施行されることになっている。

携帯分野における「データ接続料」(携帯大手3社のネットワーク貸出料)の推移

- 2021年2月末に届け出られたデータ接続料(赤部分)は、前年度の予測(青部分)よりも更なる低廉化が進み、「3年間で半減させる目標」を前倒しで実現。
(携帯大手3社平均の接続料 : 58.1万円(2019年度当初額) ⇒ 25.7万円(2021年度当初額) (▲55.7%))
- 2023年2月末に届け出られたデータ接続料(桃色部分)は、前年度の予測(緑部分)及び前々年度の予測(赤部分)を更に下回っており、「3年間で半減させる目標」達成後も同等のペースで低廉化が進捗。
(携帯大手3社平均の接続料 : 25.7万円(2021年度当初額) ⇒ 9.8万円(2025年度当初額) (▲61.9%))

データ接続料(携帯大手3社平均値)の推移



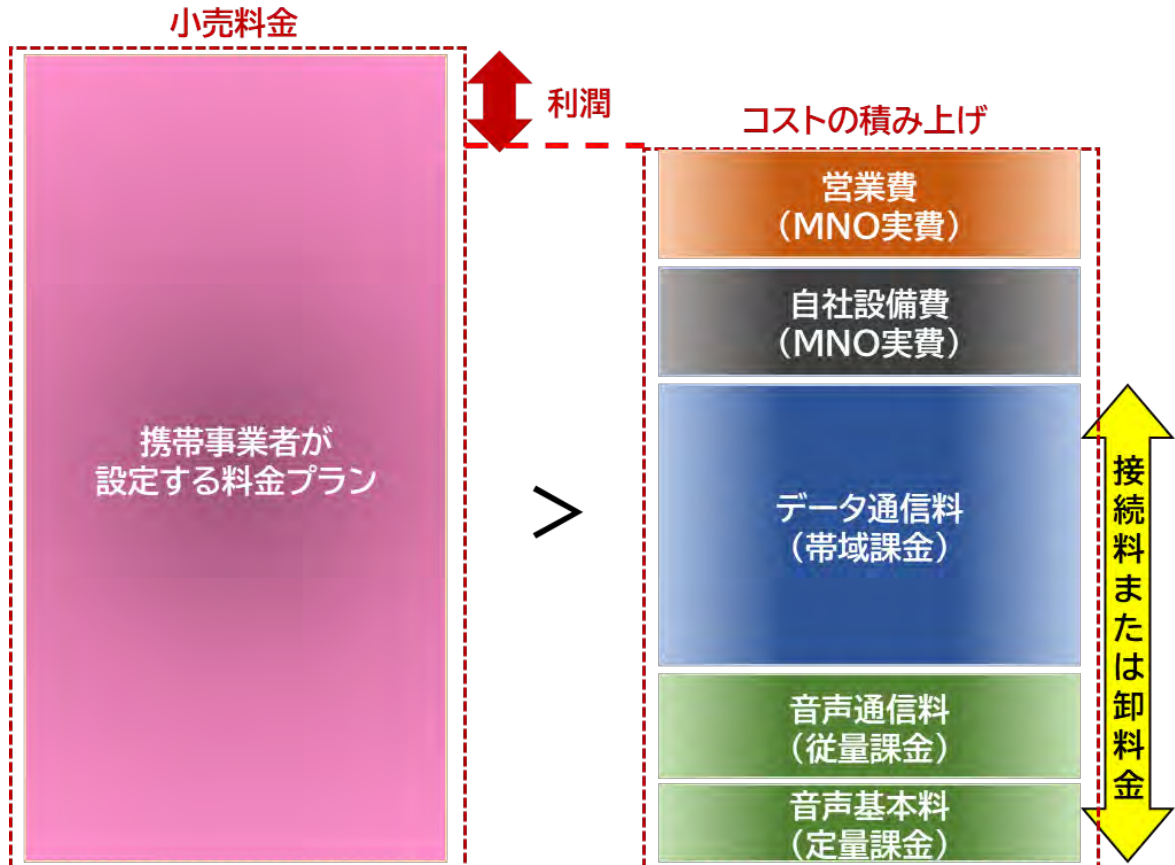
※ グラフは、各年度における当初支払額(精算前)の料額(携帯大手3社単純平均)を記載。括弧内は対前年度増減率。
 ※ 接続料(2020年度以降)は、将来原価方式に基づく予測値。また4Gと5Gを一体的に算定したもの。

(参考)データ接続料の算定方法

$$\text{接続料単価} \leq \frac{\text{適正な原価} + \text{適正な利潤}}{\text{需要(回線容量)}}$$

モバイル分野における接続料等と小売料金との関係の検証

- 「MNOの小売料金」と「MVNOがMNOに支払う接続料等のコスト」を比較し、**「接続料等」が「小売料金」を十分に下回っているかについて検証。**
- ガイドライン（令和4年11月策定）に基づき、**初回の検証を実施。**今次検証ではNTTドコモの「ahamo」、KDDIの「povo2.0※」、ソフトバンクの「LINEMOミニプラン」を対象としたところ、当該**対象サービス等の価格は価格圧搾による不当な競争を引き起こす水準ではないと認められた。**
※「ベースプラン」に、「データ追加3GB (30日間)」のデータトッピングを追加したもの



○ 指定設備卸役務の提供について、相対契約を基本としつつも、指定設備を設置する事業者の交渉上の優位性や両者の間の情報の非対称性を是正し、協議がより実質的・活発に行われるための環境整備として、指定設備を設置する事業者に対する以下の新たな規律を整備。（令和4年電気通信事業法改正により整備。）

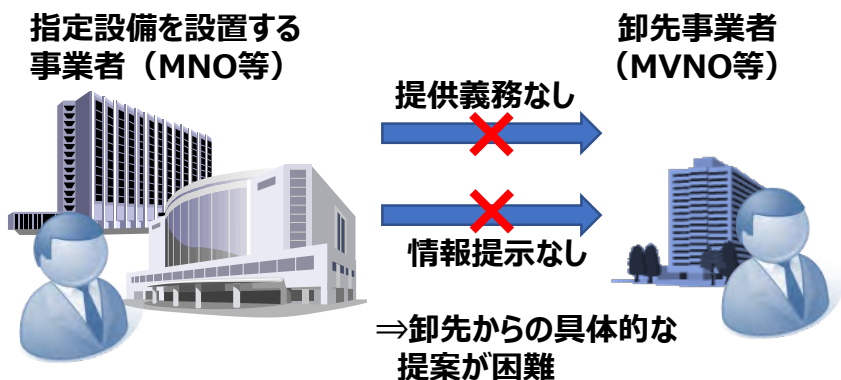
- **特定卸役務**（指定設備卸役務のうち、競争関係に及ぼす影響が少ないもの以外のもの）**を提供する義務**
- 料金の算定方法等の**協議の円滑化に資する事項を卸先事業者の求めに応じて情報提示する義務**

○ 本年6月の施行に向け、主に下記の事項に関する省令等を検討中。

- **特定卸役務の範囲**：携帯電話サービス等を想定
- **協議の円滑化に資する事項**：接続料相当額、卸料金と接続料相当額との差分で回収が見込まれている費用項目等を想定

<卸協議の適正化イメージ>

これまでの卸協議



今後の卸協議



6 指定事業者のARPUの状況

- ・ 指定事業者のARPUについては、2022年度第1四半期から第3四半期までの平均値は、契約全体では3,427円、スマートフォン向け契約では3,780円であり、2021年度の平均値と比べ、それぞれ、▲4.0%、▲6.2%となっている。
- ・ MNO 3社の場合には、廉価プランの提供が本格化して以降、減少傾向にあり、改正事業法施行年と比較すると▲19.4%となっている。他方で、一部の事業者からは2022年途中から増加に転じているとの報告もあった。
- ・ MNO 3社以外の場合には、額自体はMNO 3社と大きな開きがあるものの、直近1年程度は増加傾向となっている。

7 通信料金に関する利用者意識調査の結果

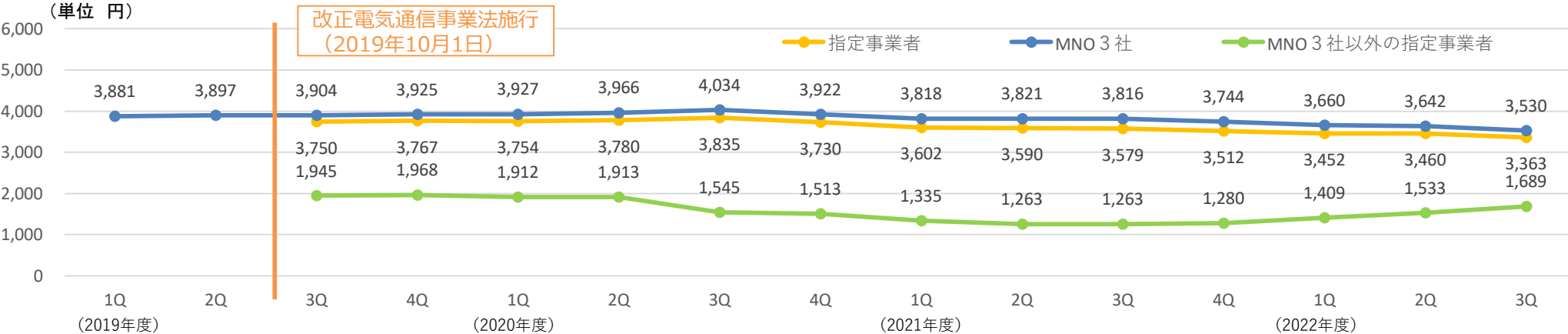
- ・ 総務省が実施した利用者意識調査※の結果によれば、月々の携帯電話会社への支払総額（通信料金、端末代金やアプリ代金等を含んだ総額）は継続して低下しており、直近の1年間において約4,583.2円から約4,452.3円で、▲2.9%となり、改正事業法施行時点（約6,920.6円）と比べて▲35.7%となっている。
- ・ また、月々の通信料金の支払額も同様に継続して低下しており、直近の1年間において約2,498.0円から約2,485.7円で、▲0.5%となり、改正事業法施行時点（約4,287.3円）と比べて▲42.0%となっている。

※：サンプル数：6,000人（属性は12属性×500人 ①性別（男女）・・・2属性、②年齢（20代～70代以上 10代ごと）・・・6属性） 調査実施期間：2022/3/9～3/11

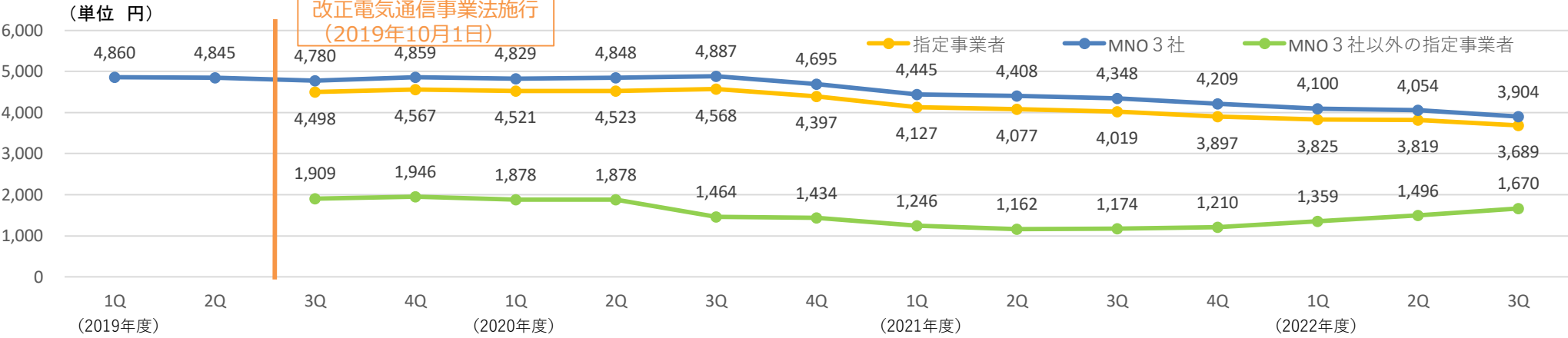
ARPUの推移

○ MNO3社のARPUは、全体、スマートフォン向けともに、2019年度第3四半期以降、2020年度第3四半期に向けて増加傾向にあった後は、概ね減少傾向にある。他方で、MNO3社以外の指定事業者は、2021年度第3四半期以降増加傾向に転じている。

ARPUの推移(全体)



ARPUの推移(スマートフォン向け)



注1) 上図の値は移動電気通信サービスの契約に係るものを示す。
 注2) MNO3社のうち、KDDIは沖縄セルラー電話株式会社を含み、2020年10月からはUQモバイルの数字も含む
 注3) ARPUの計算式は左記のとおり。『ARPU = 移動電気通信サービスに係る当四半期の収益 / ((前四半期末の契約数 + 当四半期中の各月の契約数) / 4) / 3』
 注4) 指定事業者の数値及びMNO3社以外の指定事業者の数値については、MNO3社以外の指定事業者に2019年第3四半期分より報告を求めていることから、当期以降の数値を基に計算している。
 注5) MNO3社の数値については、MNO3社に2019年第1四半期分より報告を求めていることから、当期以降の数値を基に計算している。

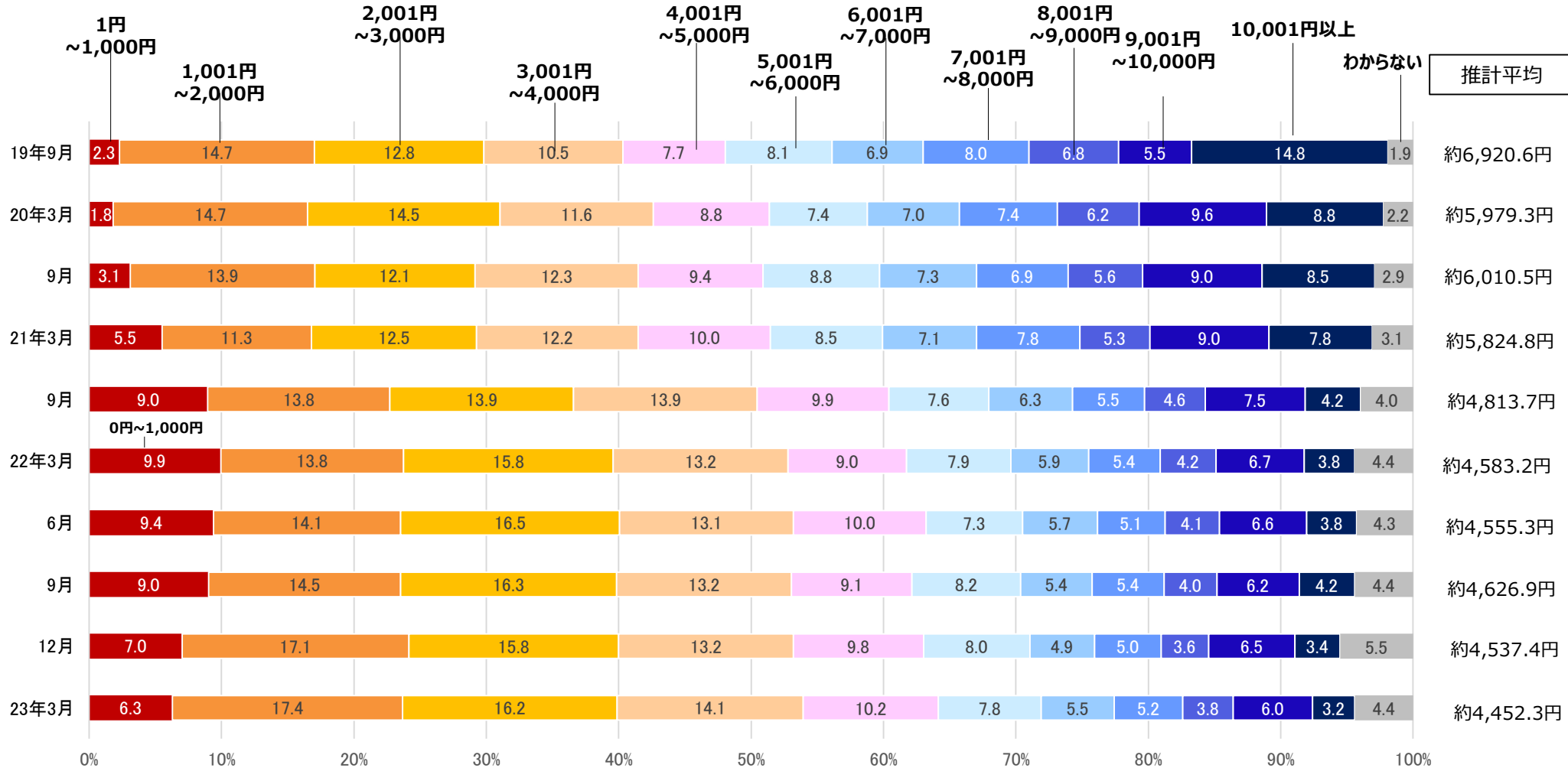
出典: 電気通信事業報告規則に基づく報告及び報告徴収に基づく報告

毎月の支払額

問 あなたは、前問でお答えいただいた携帯電話会社に月々いくらぐらい支払っていますか。

n=6,000 (19年9月のみn=6,001)

- ※ ご家族の分も支払っている場合は、だいたいで結構ですので、ご自身の分と思われる金額をお答えください。
- ※ 通信料金（音声通話料金、データ通信料金等）、通信料金以外の携帯電話料金（端末代金、アプリの使用料金等）など、トータルで携帯電話会社に支払っている金額をお答えください。
- ※ インターネット回線の利用料や、キャリア決済の金額は含まずお答えください。
- ※ 税抜の金額をお答えください。

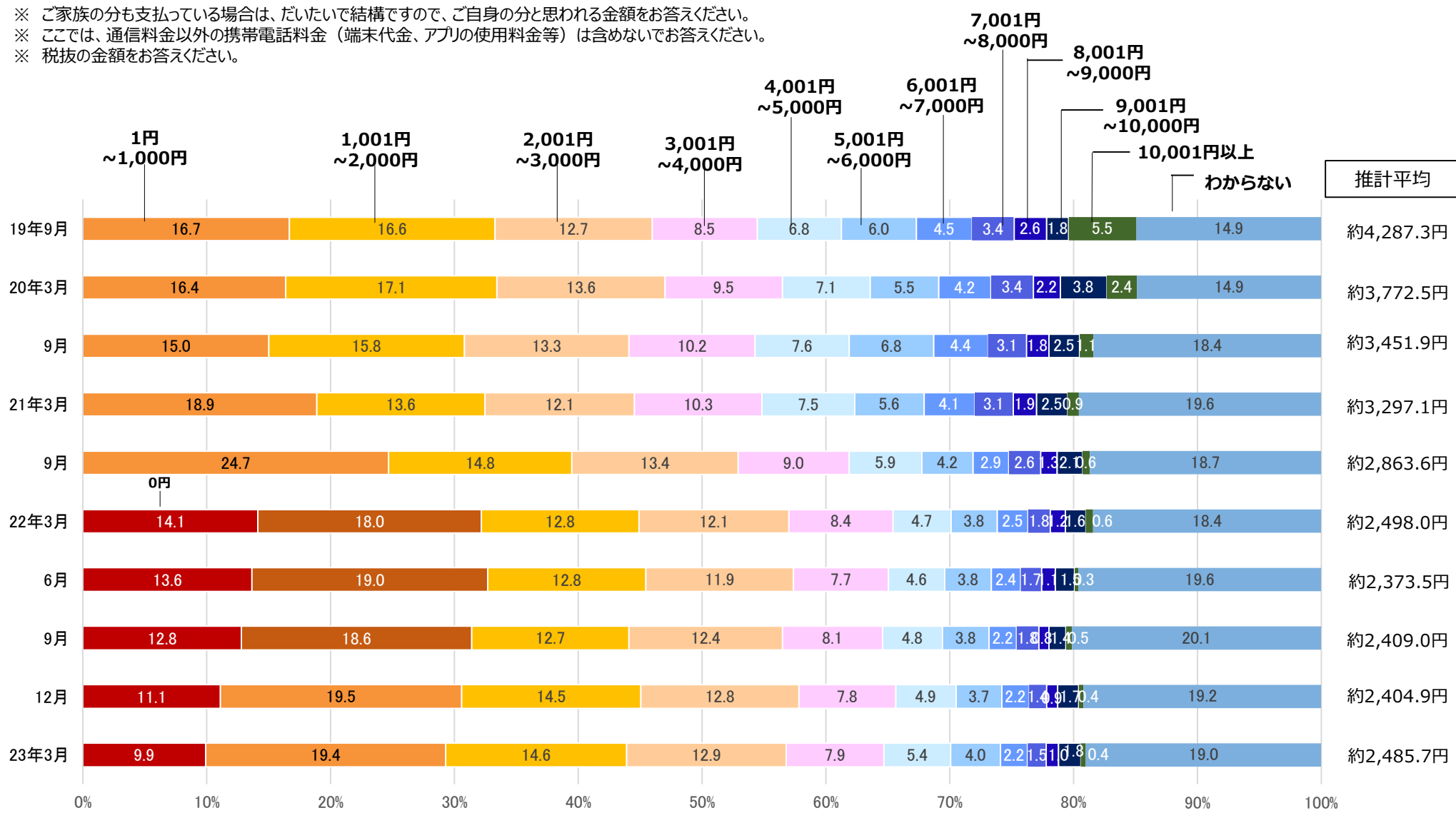


19年9月の推計平均は19年12月と20年3月「10,001円以上」の平均値を用いて算出

毎月の通信料金の支払額

問 あなたは、前問でお答えいただいた支払いのうち、携帯電話の通信料金（音声通話料金、データ通信料金等）を月々いくらぐらい支払っていますか。
 n=6,000（19年9月のみn=6,001）

- ※ ご家族の分も支払っている場合は、だいたい結構ですので、ご自身の分と思われる金額をお答えください。
- ※ ここでは、通信料金以外の携帯電話料金（端末代金、アプリの使用料金等）は含めないでお答えください。
- ※ 税抜の金額をお答えください。



19年9月の推計平均は19年12月と20年3月「10,001円以上」の平均値を用いて算出

3. 利用者の動向

1 利用者による事業者乗換えの動き①

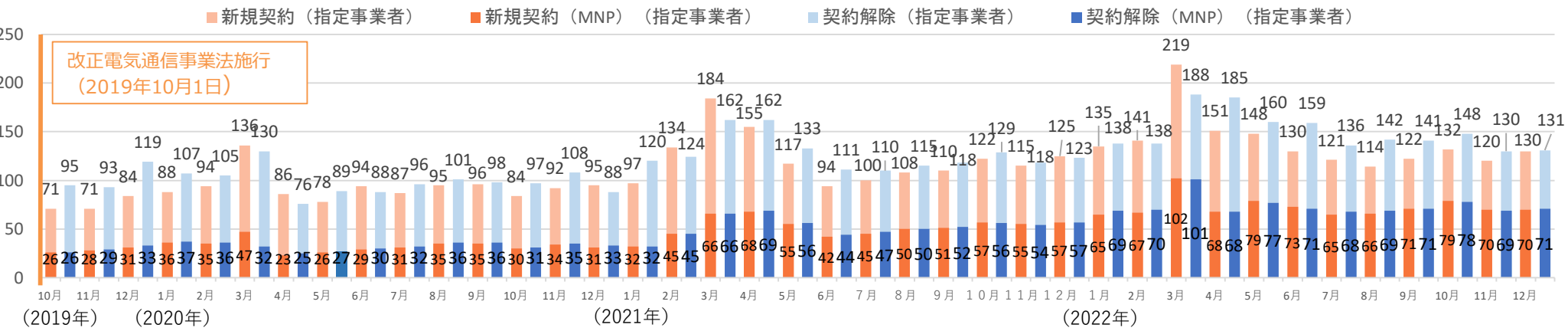
- 指定事業者の新規契約数及び契約解除数は、全体で、毎年3月に大きく伸びた後、前年同月を毎月上回る水準で推移しており、2022年の合計では、前年同期と比べ、新規契約数は+13.8%、契約解除数は+17.6%となっている。スマートフォン向けの契約では、より増加率が大きく、同様に、新規契約数は+17.8%、契約解除数は+31.7%となっている。
- 新規契約数及び契約解除数に占めるMNP件数の割合は、2022年度第3四半期は5割程度（+57.3%）となっており、改正事業法施行年度の第3四半期と比較すると+157%となっているなど年々増加傾向にある。これは、楽天モバイル及びMVNOの発表にあったサービス利用意思を伴わない乗換えが影響している可能性が考えられる。
- MNO3社については、全体では、毎月の契約解除数が新規契約数を上回る傾向が続いているが、2022年3月はこれが逆転している。他方で、スマートフォン向けについては、双方に大きな差はなく、2021年8月以降、新規契約数が契約解除数を上回る傾向になっている。
- MNO3社以外の指定事業者については、2022年4月までは移動電気通信役務、スマートフォン向けともに一貫して新規契約数が契約解除数を上回っていたが、2022年5月から10月にかけて、契約解除数が新規契約数を上回った。この要因としては、楽天モバイルが、2022年5月に1GB以下0円を廃止したRakuten UN-LIMIT VIIを同年7月1日に提供開始することを発表したことを受け、この時期に同社の契約解除者が増加したためと考えられる。
- 解約率については、指定事業者全体、MNO3社、それ以外の事業者とも、また、全体、スマートフォン向けとも、概ね継続して前年同月より高い状況が続いている。MNO3社以外の指定事業者については、新規契約数が契約解除数を上回っているにもかかわらず、MNO3社に比べて解約率が高いことは母数としての契約数の大きさの違いによるものと考えられる。

指定事業者の新規契約数及び契約解除数（MNP件数含む）

○ 指定事業者の新規契約数及び契約解除数は、毎年3月に大きく伸びる傾向があり、概ね前年同月を上回る水準で推移している。このうち、5割程度がMNPによるものとなっている。

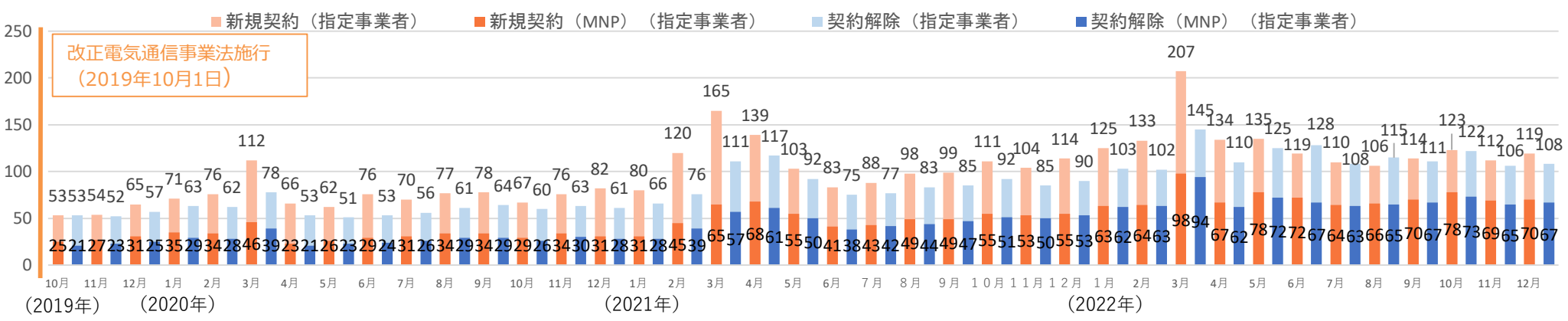
新規契約数及び契約解除数に占めるMNPの件数の推移（全体）

（単位 万件）



新規契約数及び契約解除数に占めるMNPの件数の推移（スマホ向け）

（単位 万件）

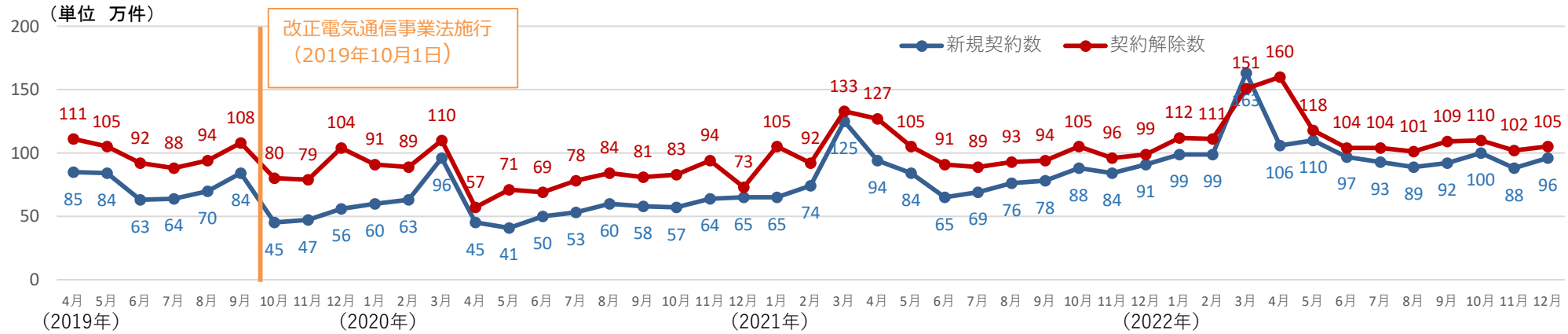


注1) 上図の値は移動電気通信役務の契約に係るものを示す。
 注2) MNO3社のうち、KDDIは沖縄セルラー電話株式会社の数を含み、2020年10月以降はUQモバイルの数も含む。
 出典：電気通信事業報告規則に基づく報告及び報告徴収に基づく報告

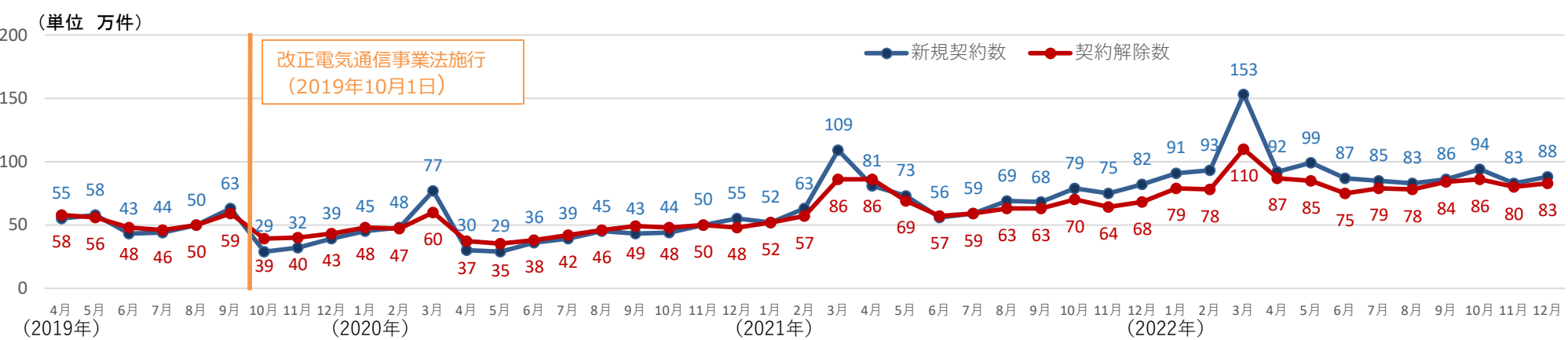
新規契約数及び契約解除数の推移 (MNO 3社)

○ MNO 3社については、全体では、概ね毎月の契約解除数が新規契約数を上回る傾向が続いている。他方で、スマートフォン向けについては、双方に大きな差はなく、特に最近では、新規契約数が契約解除数を上回る傾向になっている。

新規契約数及び契約解除数の推移



新規契約数及び契約解除数の推移(スマートフォン向け)



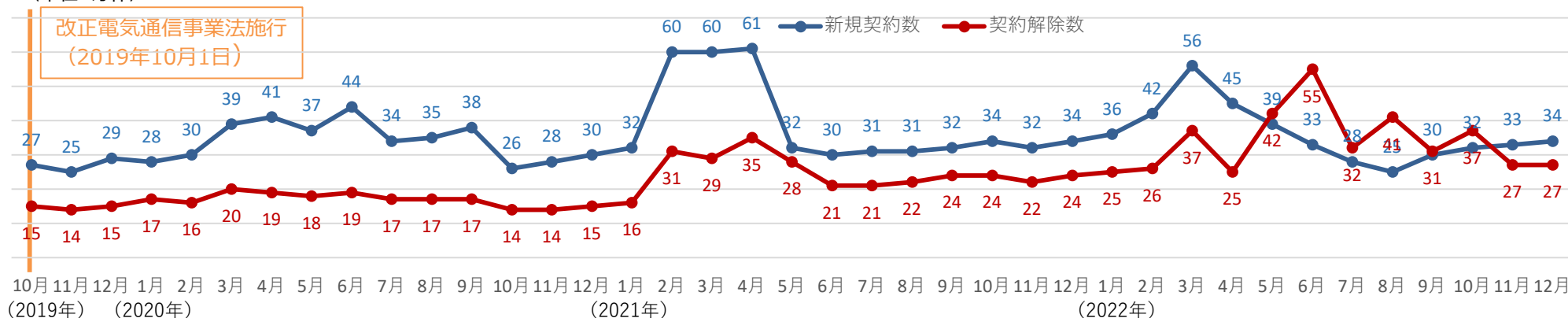
注1) 上図の値は移動電気通信役務の契約に係るものを示す。
 注2) MNO3社のうち、KDDIは沖縄セルラー電話株式会社の数を含み、2020年10月以降はUQモバイルの数も含む。

新規契約数及び契約解除数の推移（MNO 3 社以外の指定事業者）

○ MNO 3 社以外の指定事業者については、全体では毎月の新規契約数が契約解除数を上回る傾向が続いているが、2022年5月から10月までの間はこの傾向が逆転している。

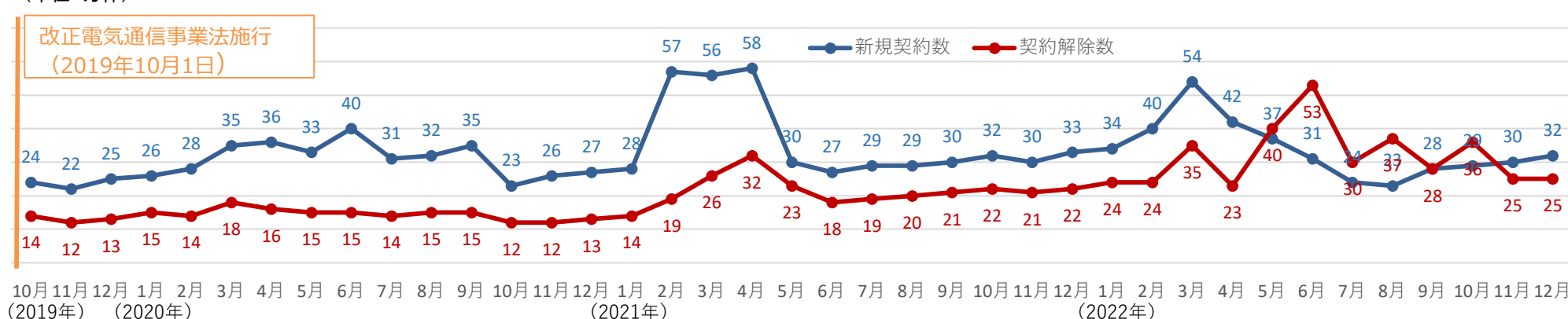
新規契約数及び契約解除数の推移

(単位 万件)



新規契約数及び契約解除数の推移(スマートフォン向け)

(単位 万件)



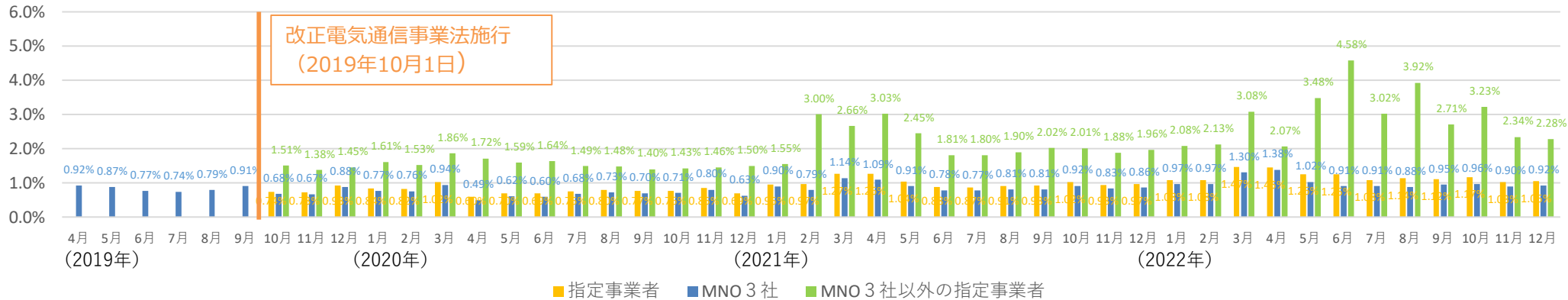
出典：電気通信事業報告規則に基づく報告及び報告徴収に基づく報告

注) 上図の値は移動電気通信役務の契約に係るものを示す。

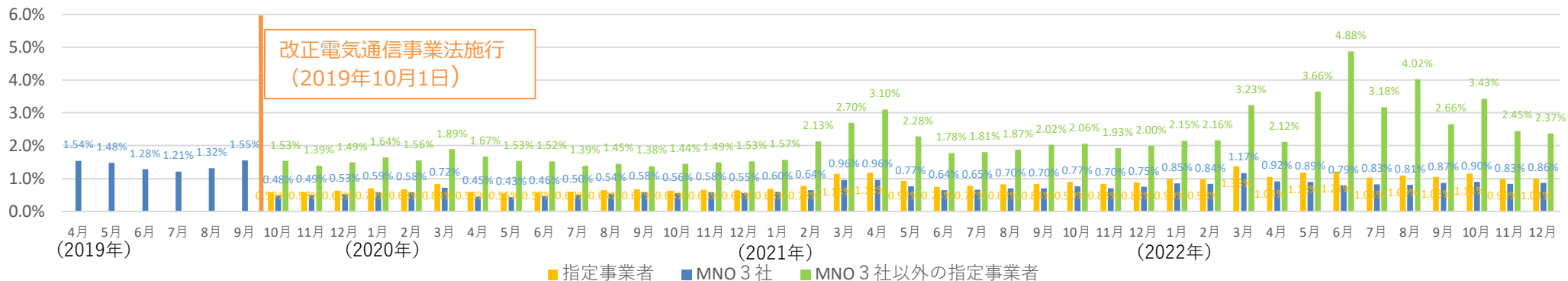
解約率の推移

- 指定事業者の解約率は増加傾向であり、2020年10月以降、概ね全ての月で前年同月を上回っている。特に、MNO 3社以外の指定事業者の解約率が高くなっている。

解約率の推移(全体)



解約率の推移(スマートフォン向け)



注1) 上図の値は移動電気通信役務の契約に係るものを示す。

注2) MNO3社のうち、KDDIは沖縄セルラー電話株式会社の数を含み、2020年10月以降はUQモバイルの数も含む。

注3) 解約率の計算式は右のとおり。『解約率 = 当月の契約解除数 / (当月の契約解除数 + 当月の契約数合計)』

注4) 2019年4月から9月までの数値については、MNO3社以外の指定事業者から報告を求めているため、指定事業者の数値及びMNO3社以外の指定事業者の数値を記載していない。

出典: 電気通信事業報告規則に基づく報告及び報告徴収に基づく報告

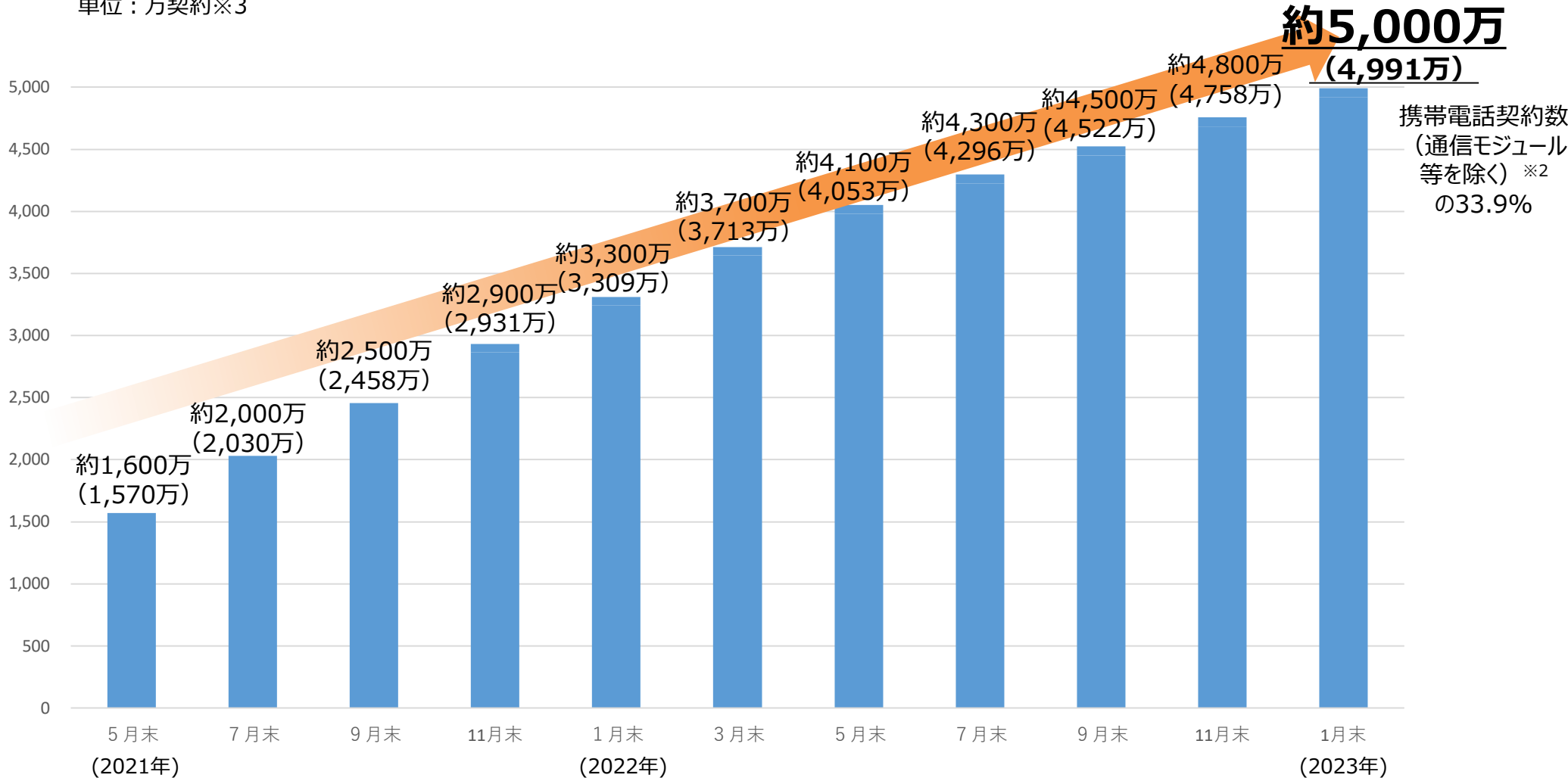
2 新料金プランへの移行状況

- 2021年5月以降、新料金プランの契約数は、平均すると170万/月を超えて増加しており、2023年1月末では、その数は約5,000万となっており、新料金プランへの移行は着実に進展している。
- なお、これら新料金プランへの月当たりの契約数の増加（約171万/月）が、指定事業者の月当たりの新規契約数（2021年の5月から2022年12月までの平均：約128万/月）を上回っているが、これは同じ事業者内でのプラン変更、ブランド変更が多く含まれるためと考えられる。

新料金プランへの移行状況①

- 主に2021年2月以降、携帯電話事業者各社が従来に比べて低廉な新しい料金プラン※¹の提供を開始、競争が活発化。
- 主要な携帯電話事業者各社が提供を開始した新料金プランの契約数合計は、2023年1月末時点で約5,000万。
- これは、携帯電話契約数（通信モジュール等を除く※²。2022年9月末時点で1億4,740万。）の33.9%に相当。 ※¹ 次ページ参照

単位：万契約※³



※² MNOは携帯電話契約数から通信モジュールの契約数を除いたもの。
MVNOは契約数3万以上の事業者からの契約数報告のうち携帯電話・SIMカード型のサービスの契約数。
いずれもMNOのグループ内取引による契約数の重複等を排除・調整している。

※³ グラフの数値は100万の位で四捨五入したもの（括弧内の数値は1万の位で四捨五入したもの）。

新料金プランへの移行状況② (契約数集計の対象としている新料金プラン)

- 新料金プランの契約数集計の対象及び集計開始時期は、下の表のとおり。
- 集計開始（2021年5月）以降も、各社が新たに低廉な料金プランの提供を開始していることを踏まえ、随時集計の対象を追加。

事業者名等* (MNO)	料金プラン名等	集計開始時期
NTTドコモ	ahamo	2021年5月
	5Gギガホプレミア、ギガホプレミア	2021年5月
KDDI	povo (1.0)	2021年5月
	povo (2.0)	2021年9月
	使い放題MAX 5G/4G	2021年5月
UQモバイル	くりこしプランS/M/L /+5G	2021年5月
ソフトバンク	LINEMO(スマホプラン)	2021年5月
	LINEMO(ミニプラン)	2021年9月
	メリハリ無制限	2021年5月
ワイモバイル	シンプルS/M/L	2021年5月
楽天モバイル	Rakuten UN-LIMIT VI	2021年5月
	Rakuten UN-LIMIT VII	2022年7月

事業者名等* (MVNO)	料金プラン名等	集計開始時期
IJmio モバイルサービス	ギガプラン	2021年5月
イオンモバイル	音声プラン、データプラン、 シェア音声プラン、やさしいプラン	2021年10月
OCNモバイルONE (NTTレゾナント)	SIMカード	2021年5月
mineo (オプテージ)	マイピタ	2021年5月
	マイそく	2022年3月
J:COM MOBILE	AプランST	2021年5月
トーンモバイル (ドリーム・トレイン・インター ネット)	基本プラン	2021年10月
	TONE for iPhoneプラン	2021年12月
	TONE for Androidプラン	2022年2月
日本通信	合理的20GBプラン、合理的かけほプラン、 合理的みんなのプラン、WSmartプラン、	2021年5月
	合理的シンプル290プラン	2022年1月
NUROモバイル (ソニーネットワークコミュニ ケーションズ)	バリュープラス	2021年10月
	VS/VM/VL、お試しプラン	
	NEOプラン	2021年11月
ビッグロース	NEOプランLite	2022年4月
	BIGLOBEモバイル S/R/M	2021年5月
y. u mobile	done done	2021年9月
	シングル、シングル U-NEXT、 シェア U-NEXT	2021年10月

3 新料金プランへの移行状況（利用者意識調査の結果）①

- ・ 総務省が実施した利用者意識調査※の結果によれば、「既に新料金プランを利用している」と回答した者は全体の50%となっている。また、「今後乗り換えたいと考えている」「乗り換えるつもりだが乗換え先は検討中」と回答した者は約10%となっており、全体として約6割の者が、これら新料金プランに興味を持っていることがうかがえる。他方で、「乗り換えるつもりはない」と回答した者は26.3%、「これらプランについて知らないのだからわからない」と回答した者は13.8%存在した。 ※：サンプル数：6,000人（属性は12属性×500人 ①性別（男女）…2属性、②年齢（20代～70代以上 10代ごと）…6属性） 調査実施期間：2023/3/1～3/3
- ・ 「既に新料金プランを利用している」と回答した者（メイン回線3,020に加え、サブ回線197の合計3,217名）に、どのプランを利用しているかについて尋ねたところ、「楽天モバイル：Rakuten UN-LIMIT VII（15.3%）」が最も多く、次いで、「NTTドコモ：ahamo（10.2%）」、「Y! mobile：シンプルS（10.1%）」、「ソフトバンク：メリハリ無制限（10.1%）」、「UQモバイル：くりこしプランS+5G（7.9%）」の順となっている。これらのプランへの乗換え元を尋ねたところ、いずれも、同じ事業者からの移行が最も多かったが、楽天モバイルに関しては、MNO3社からの移行（NTTドコモ：1.8%、KDDI（UQモバイル含む）：2.1%、ソフトバンク（Y!mobile含む）：2.5%、3社合計で6.4%）に次いで、同じ事業者からの移行（5.0%）、新規契約（2.3%）の順となっている。
- ・ また、MVNOから乗り換えたとの回答は合計で全体の6.5%である一方、MVNOへ乗り換えたとの回答は合計で全体の9.5%であり、全体として見れば、MVNOの契約数が増加している傾向がうかがえる回答となった。
- ・ 「今後乗り換えたい」、「乗り換えるつもりだが検討中」と回答した者（合計577名）が検討している乗換え先（複数回答）としては、「NTTドコモ：ahamo（19.9%）」が最も多く、次いで、「楽天モバイル：Rakuten UN-LIMIT VII（19.0%）」、「UQモバイル：くりこしプランS+5G（11.2%）」、「Y! mobile：シンプルS（11.0%）」、「povo（9.8%）」の順となっている。これらのプランへの乗換えを検討している者は、概ね同じ事業者からが多かったが、楽天モバイルに関しては、NTTドコモの契約者が最も多く（7.2%）、次いでKDDI（3.5%）、ソフトバンク（2.9%）と、MNO3社の契約者の割合が高く、これらは同じ事業者（楽天モバイル）の契約者（1.9%）よりも高い割合となっている。

3 新料金プランへの移行状況（利用者意識調査の結果）②

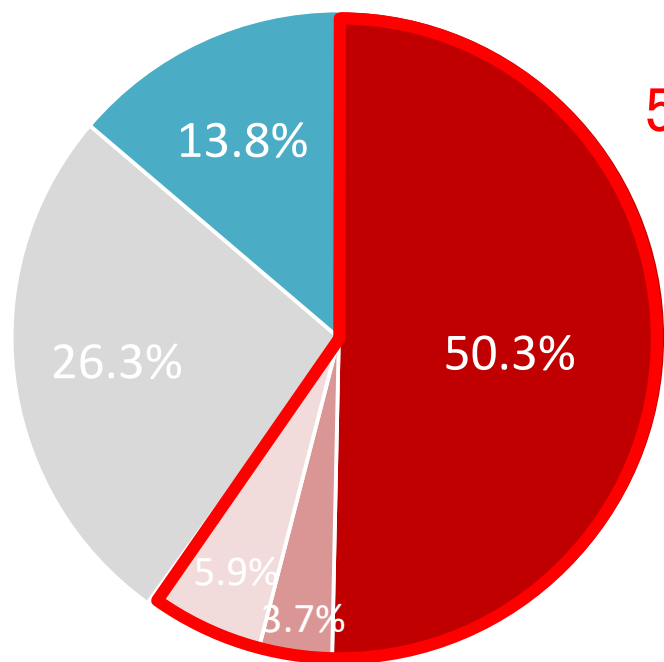
- ・ この他、既に新料金プランを利用している等の理由として最も多かったのは「料金が安いから（42.6%）」であり、また、新料金プランに乗り換えるつもりがない理由として最も多かったのは「現在のプランに特に不便を感じていないから（24.1%）」、次いで「（乗り換えると、）今より料金が高くなってしまうから（19.3%）」、「手続きを行うことが面倒だから（17.3%）」が多い結果となった。

利用者意識調査結果（新たな料金プランへの乗換え意向）

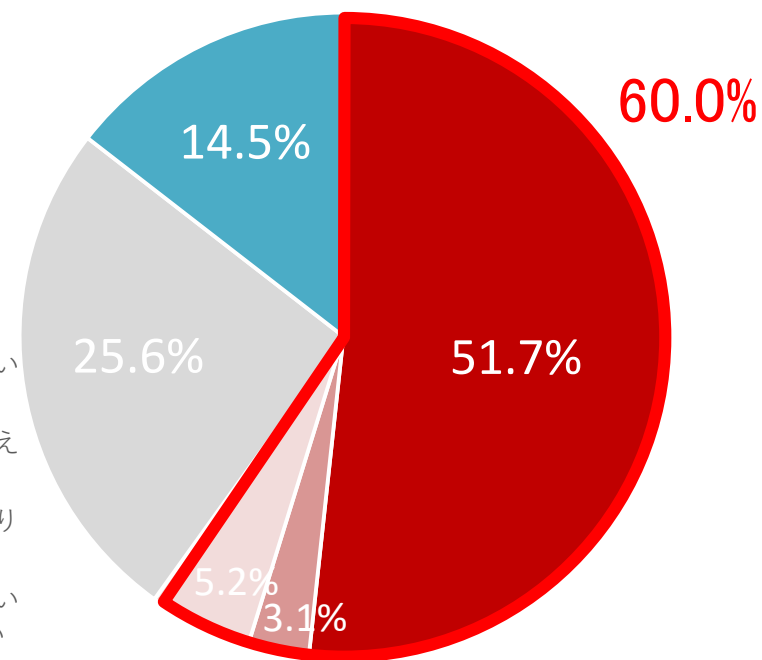
問 あなたは、既に新料金プランを利用していますか。また、どの新料金プランを利用していますか。複数の回線を契約している方は、メインで利用している回線についてお選びください。

問 （前問で新料金プランを利用していないと回答した者に対し）あなたは、今後、これらの新料金プランに乗り換えたいと思いますか。

全体（n=6,000）



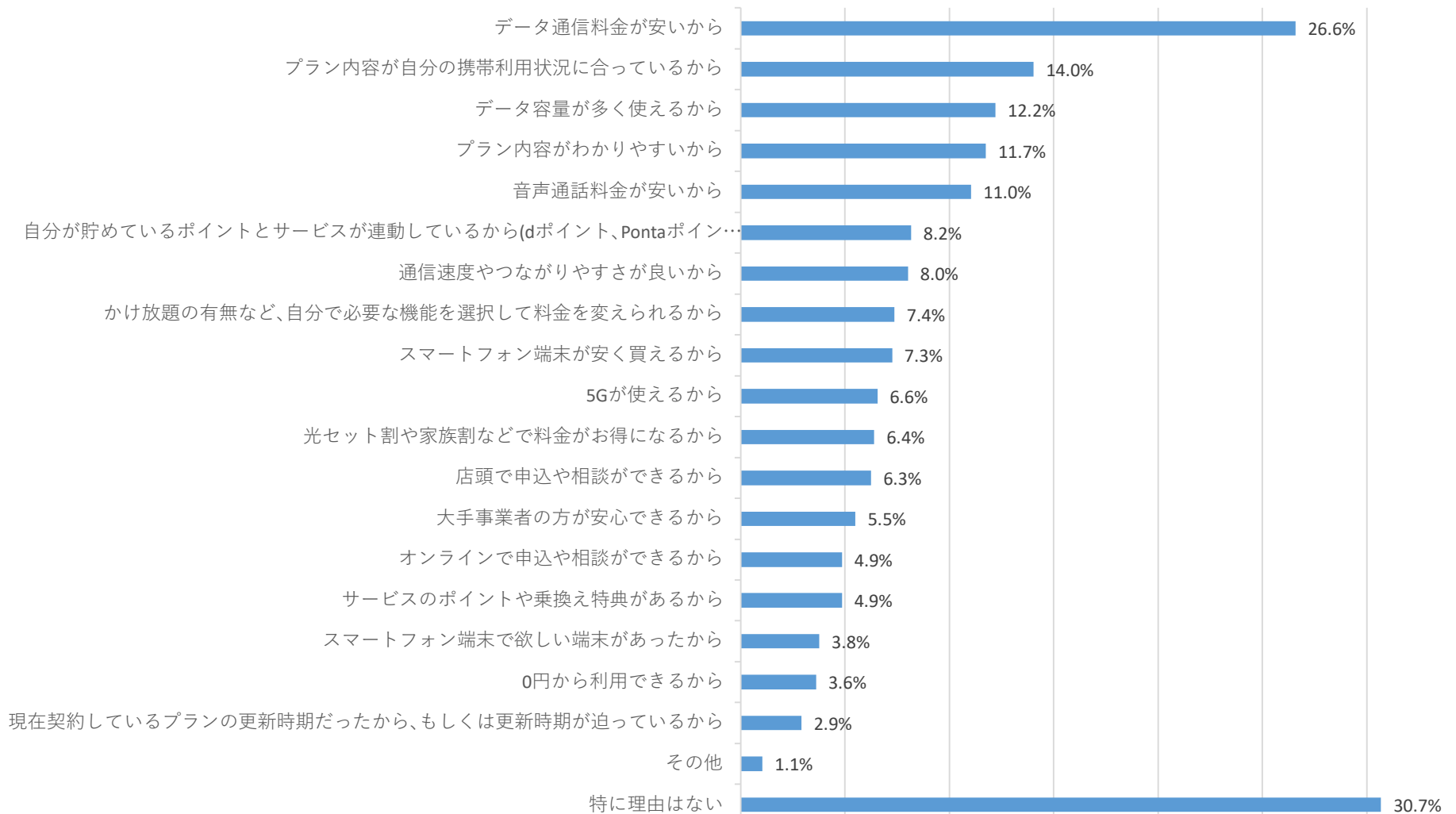
MVNOユーザー（n=524）



- 既に利用している
- 今後乗り換えたいと考えている
- 乗り換えるつもりだが乗換え先は検討中
- 今のところ乗り換えるつもりはない
- 発表された料金プランについて知らないので、わからない

問 あなたが低廉な新料金プランをすでに利用している、あるいは今後乗り換えたいと考えている理由は何ですか。あてはまるものを全てお選びください。

(n = 3,241)

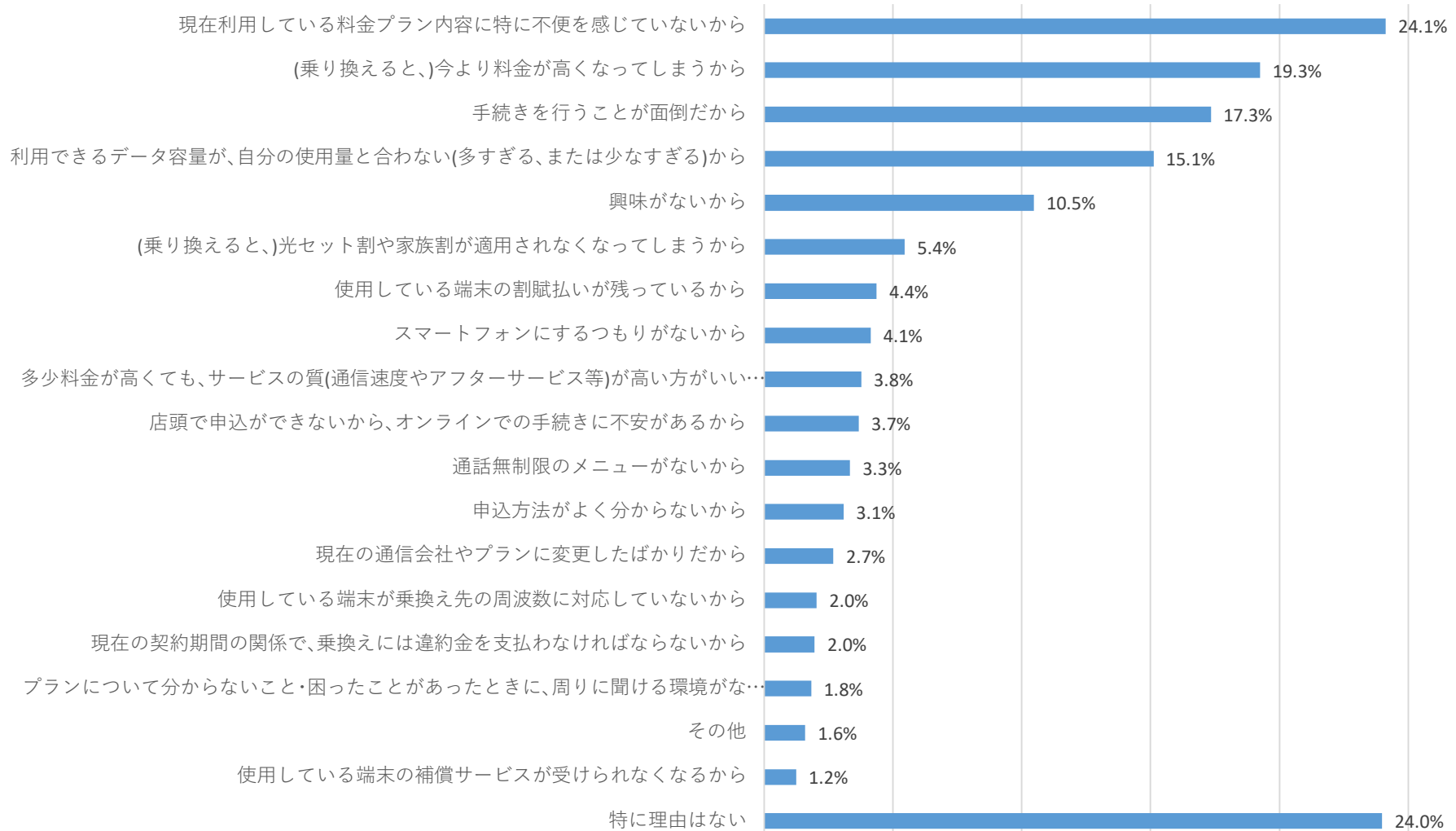


今のところ乗り換えるつもりがないと考えている理由

47

問 あなたが今のところ新料金プランに乗り換えるつもりはないと考える理由は何ですか。あてはまるものを全てお選びください。

(n = 1,577)



利用者意識調査結果（既に新料金プランを利用している者の動き）

	移行元の割合↓	NTTドコモ			KDDI			UQモバイル			ソフトバンク		Y!mobile			Rakuten UN-LIMIT VII(5段階制)		IIJ(IJmio)	オプテージ(マイネオ)	NTTレゾナント (OCN モバイル ONE)	ビッグロープ(ビッグロープモバイル)	J:COM(J:COM MOBILE)	日本通信	イオンリテール(イオンモバイル)	Y.U-mobile(y.u mobile)	ドリーム・トレイン・インターネット (トーンモバイル)	ソニーネットワークコミュニケーションズ (NURO モバイル)
		ギガホプレミア(60 GB)	5ギガホプレミア(無制限)	ahamo(20 GB,大盛りオプション 80 GB) (オンライン限定プラン)	使い放題MAX 4 G(無制限)	使い放題MAX 5 G(無制限)	povo 1.0 (20 GB),povo 2.0 (都度選択型)(オンライン限定プラン)	へリンコプランS+5 G(3 GB)	へリンコプランM+5 G(15 GB)	へリンコプランL+5 G(25 GB)	メリハリ無制限(無制限)	スマホプラン(20 GB),ミニプラン(3 GB) (オンライン限定プラン)	シンプル(3 GB)	シンプルM(15 GB)	シンプルL(25 GB)												
移行先の割合→	100%	5.2%	6.5%	10.2%	3.2%	5.4%	4.4%	7.9%	2.6%	0.4%	10.1%	1.9%	11.8%	4.6%	0.7%	15.3%	2.1%	1.0%	2.6%	0.6%	1.1%	0.7%	0.8%	0.2%	0.1%	0.3%	
NTTドコモ(docomo, ahamo)	22.6%	3.5%	5.1%	7.5%	0.2%	0.2%	0.2%	0.6%	0.1%	0.0%	0.6%	0.2%	0.8%	0.4%	0.1%	1.8%	0.3%	0.1%	0.7%	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
KDDI(au, povo)	17.9%	0.1%	0.1%	0.5%	1.9%	3.7%	2.6%	3.3%	1.0%	0.2%	0.4%	0.0%	1.1%	0.3%	0.1%	1.8%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
UQモバイル	4.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	1.6%	0.6%	0.1%	0.0%	0.1%	0.3%	0.2%	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
ソフトバンク(SoftBank, LINEMO)	15.4%	0.2%	0.2%	0.4%	0.1%	0.2%	0.1%	0.4%	0.3%	0.1%	6.0%	0.4%	3.1%	1.6%	0.3%	1.7%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	
Y!mobile	9.9%	0.1%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.2%	0.0%	0.7%	0.2%	4.6%	1.5%	0.1%	0.8%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	
楽天モバイル	8.8%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.3%	0.4%	0.3%	0.1%	5.0%	0.3%	0.1%	0.2%	0.0%	0.1%	0.4%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	
IIJ(IJmio)	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.7%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
オプテージ(マイネオ)	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
NTTレゾナント(OCN モバイル ONE)	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ビッグロープ(ビッグロープモバイル)	0.8%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
J:COM(J:COM MOBILE)	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
日本通信	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
イオンリテール(イオンモバイル)	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	
Y.U-mobile(y.u mobile)	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ドリーム・トレイン・インターネット(トーンモバイル)	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ソニーネットワークコミュニケーションズ(NURO モバイル)	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	
その他の格安SIM会社	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.7%	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
携帯電話会社と契約していなかった	14.9%	1.2%	1.1%	0.7%	0.9%	1.2%	0.5%	0.7%	0.3%	0.0%	2.3%	0.4%	1.2%	0.4%	0.1%	2.3%	0.3%	0.1%	0.4%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	

利用者意識調査結果（乗換え意向を有する利用者の傾向）

	NTTドコモ			KDDI			UQモバイル			ソフトバンク		Y!mobile			Rakuten UN-LIMIT VII(段階制)			IIJ(IJmio)	オプテージ(マイネオ)	NTTレゾナント (OCN モバイル ONE)	ビッグロープ(ビッグロープモバイル)	J:COM(J:COM MOBILE)	日本通信	イオンリテール(イオンモバイル)	Y.U-mobile(y.u mobile)	ドリーム・トレイン・インターネット (トーンモバイル)	ソニーネットワークコミュニケーションズ (NURO モバイル)	その他の料金プラン
	移行元の割合→	ギガホプレミア(60 GB)	5ギガホプレミア(無制限)	ahamo(20 GB、大盛りオプション 80 GB) (オンライン限定プラン)	使い放題MAX 4G(無制限)	使い放題MAX 5G(無制限)	povo 1.0(20 GB)、povo 2.0(都度選 択型)(オンライン限定プラン)	<オンラインプラン>S+5G(3 GB)	<オンラインプラン>M+5G(15 GB)	<オンラインプラン>L+5G(25 GB)	スマホプラン(20 GB)、miniプラン(3 GB) (オンライン限定プラン)	メリハリ無制限(無制限)	スマホプラン(5 GB)	シンプル(5 GB)	シンプル(25 GB)	シンプル(5 GB)	シンプル(25 GB)											
移行先の割合（複数回答）→	100%	9.1%	8.9%	19.9%	6.3%	7.0%	9.8%	11.2%	3.4%	1.1%	7.9%	5.5%	11.0%	4.1%	1.0%	19.0%	2.9%	2.7%	3.3%	1.2%	2.1%	2.0%	2.6%	1.6%	0.8%	2.1%	4.0%	
NTTドコモ	43.1%	7.9%	7.7%	14.4%	0.7%	1.7%	1.3%	3.0%	0.5%	0.1%	1.3%	0.9%	2.7%	1.0%	0.2%	7.2%	1.0%	0.3%	2.2%	0.2%	1.0%	0.6%	0.7%	0.5%	0.0%	0.4%	2.3%	
KDDI(au)	22.2%	0.5%	0.5%	1.6%	5.1%	4.0%	5.5%	5.2%	1.6%	0.8%	0.2%	0.2%	1.2%	0.3%	0.1%	3.5%	0.2%	0.4%	0.2%	0.2%	0.1%	0.3%	0.9%	0.0%	0.2%	0.5%	0.4%	
ソフトバンク	14.7%	0.7%	0.7%	2.0%	0.5%	0.5%	1.1%	0.7%	0.7%	0.2%	5.6%	2.7%	2.8%	1.5%	0.6%	2.9%	0.4%	0.6%	0.6%	0.2%	0.4%	0.4%	0.6%	0.4%	0.2%	0.4%	0.0%	
楽天モバイル(UN-LIMIT VIIプラン)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Y!mobile	3.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.1%	0.2%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	
UQモバイル	3.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.4%	0.2%	1.2%	0.5%	0.0%	0.1%	0.4%	0.3%	0.2%	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%	
楽天モバイル(UN-LIMIT VIIプラン以外のプラン)	6.2%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%	0.6%	0.5%	0.2%	0.0%	0.3%	0.7%	1.9%	0.3%	0.0%	1.9%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.6%	0.2%	0.0%	0.4%	0.2%	0.3%	0.4%	
IIJ(IJmio)	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	
オプテージ(マイネオ)	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
NTTレゾナント(OCN モバイル ONE)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ビッグロープ(ビッグロープモバイル)	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
J:COM(J:COM MOBILE)	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
日本通信	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
イオンリテール(イオンモバイル)	0.5%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Y.U-mobile(y.u mobile)	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ドリーム・トレイン・インターネット(トーンモバイル)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
ソニーネットワークコミュニケーションズ(NURO モバイル)	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他の格安SIM会社	4.5%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.2%	0.0%	1.2%	0.7%	0.7%	0.2%	0.4%	0.0%	0.6%	0.4%	0.0%	0.2%	0.5%	0.2%	

4 MNO 3社の廉価プラン等への移行状況

(1) 分析対象及び方法

- ・ 報告書2020において、ワイモバイル、UQモバイルの2ブランドに焦点を当て、それがモバイル市場の競争環境に与える影響について分析が行えるよう事業者からデータを取得する旨提言があった。
- ・ これに加え、報告書2021に向けた検討の中で、報告書2020以降に新たに発表されたMNO 3社のオンライン専用プラン※についても、モバイル市場へ与える影響が大きいと想定されたことから、MNO各社（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク及び楽天モバイル）が提供するサービスのうち、特に独立系MVNOとの間の競争に影響を与えると考えられる次の料金プラン・ブランドを、「廉価プラン等」として捉え、料金プラン・ブランド別のデータを取得し、分析することとした。

※：MNO 3社の廉価プラン等のうち、NTTドコモ「ahamo」、KDDI「povo」、ソフトバンク「LINEMO」を指す。

- ・ MNO 3社の廉価プラン等※については、廉価プラン等以外の契約数が減少している中で、2021年3月以降継続して契約数を増やしている。現時点において最も移行先として選択されているMNO 3社の廉価プラン等について、総務省が実施した利用者意識調査の結果等に基づき検証を行った。

※MNO 3社の「廉価プラン等」

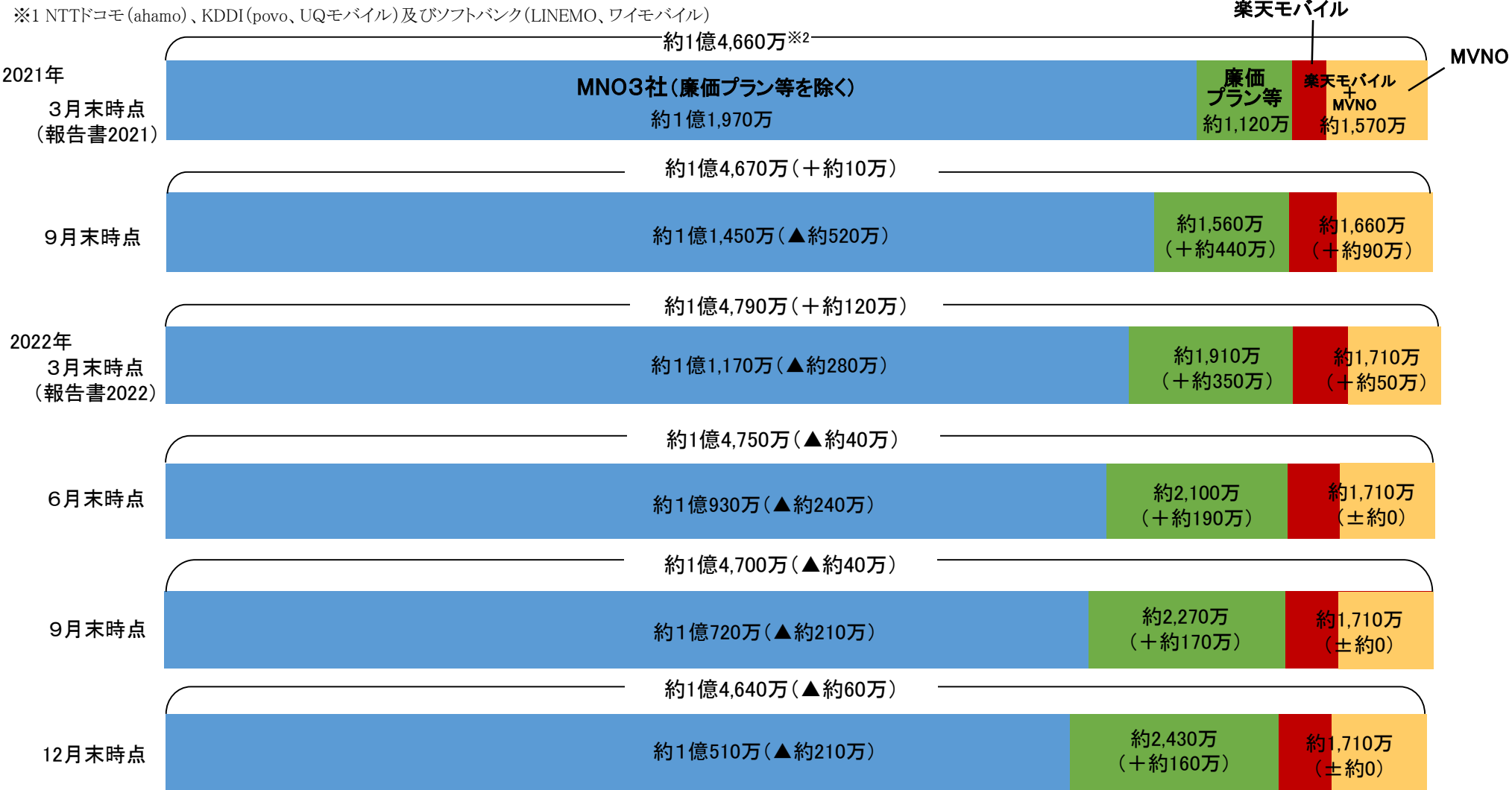
…「NTTドコモ（ahamo）」、「au（povo）」、「UQモバイル」、「SoftBank（LINEMO）」、「ワイモバイル」

(2) 分析結果① (契約数は10万単位で四捨五入している)

- 携帯電話契約数（モジュール等を除く。以下同じ。）の総数は、2022年12月末時点で約1億4,640万であり、2022年3月末時点（約1億4,790万契約）と比べ、▲1.0%となっている。
- この状況において、MNO 3社の廉価プラン等の契約数は、2022年12月末時点で約2,430万であり、2022年3月末時点（約1,910万）と比べ、+161.8%となっている。また、携帯電話契約数の総数に占める割合は33.9%であり、2022年3月末時点（25.1%）と比べ8.8ポイント増加している。
- 楽天モバイル+MVNOの契約数は、2022年12月末時点で約1,710万であり、2022年3月末時点（1,710万）と変化はない。また、携帯電話契約数の総数に占める割合は11.7%であり、2022年3月末時点（11.6%）と比べ0.1ポイント増加している。12月末時点においては、MNO 3社の廉価プラン等と比べ、約70%程度の規模である。

利用者の動向（通信モジュール等を除いた契約数：2022年12月末）

○ MNO 3社の廉価プラン等※1の契約数は、2021年3月以降、継続して増加している一方、MNO 3社の廉価プラン等以外のプランは継続して減少し、MVNOの契約数は横ばいとなっている。



※2 MNOは携帯電話契約数から通信モジュールの契約数を除いたもの。
 MVNOは契約数3万以上の事業者からの契約数報告のうち携帯電話・SIMカード型のサービスの契約数。
 いずれもMNOのグループ内取引による契約数の重複等を排除・調整している。
 契約数の数値は10万未満で四捨五入しているため、合計と内訳等の計は必ずしも一致しない。次ページにおいて同じ。

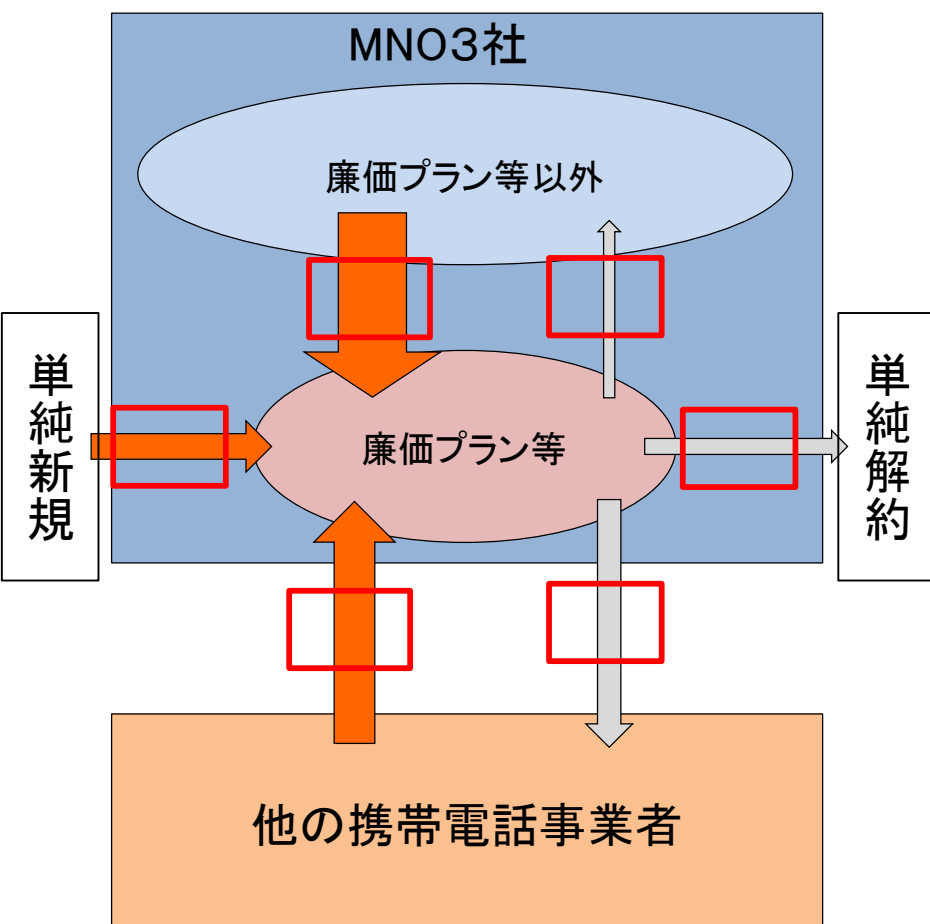
(2) 分析結果③

- MNO 3社の廉価プラン等への転入の内訳についてみると、2022年4月から2023年3月までの転入数の合計の約□□が、オンライン専用プランに限れば約□□程度が、同じ事業者内の別のプラン等からの転入となっている。2022年3月の数値（全体：約□□、オンライン専用プラン：約□□）と比べればその割合は減ってはいるものの、引き続き、オンライン専用プランへの転入の多くが同じ事業者内での転入である結果となっている。
- また、MNO 3社と他の携帯電話事業者との間では、前者の廉価プラン等から後者への転出よりも後者から前者の廉価プラン等への転出の方が多くなっている。
- なお、楽天モバイル「UN-LIMIT VII」については、MNO 3社の廉価プラン等のような、転入の内訳を把握するためのデータを手に入っていない。このため、同プランへの転入の内訳について、総務省が実施している利用者意識調査の結果に基づき分析を行った※。
- 上記調査によると、転入元として最も割合が高かったのは他のMNOからの移行（約4割）であり、次いで自社内MVNOからの移行の割合が高く（約3割）、他のMVNOからの転入は最も少ない割合（約1割）に止まるという結果であった。なお、「新規契約」の割合は約2割であり、他のMVNOからの転入より割合が高い結果となっている。
- これまでのことから、MNOの利用者はMNO内で移行する傾向（特に、同じ事業者内のオンライン専用プランに移行する傾向）が強く、MVNOの利用者はMNO 3社の廉価プラン、楽天モバイルを中心に移行する傾向が強くなっていることが分かる。また、MVNOにとっては、MNOとの価格優位性が低下している中で、顧客獲得が難しくなっている様子がうかがえる。

※ 総務省調査は2023年3月1～3日に実施したもの（6,000人）。上述の内容は、調査実施時点で楽天モバイル「UN-LIMIT VII」を利用していると回答した者に対し、いずれの事業者からの転入であるかを訊ねた結果。

○ 2022年4月から2022年12月までの転入数の合計の約 が、オンライン専用プランに限れば約 以上が、同じ事業者内の別のプラン等からの転入となっている。

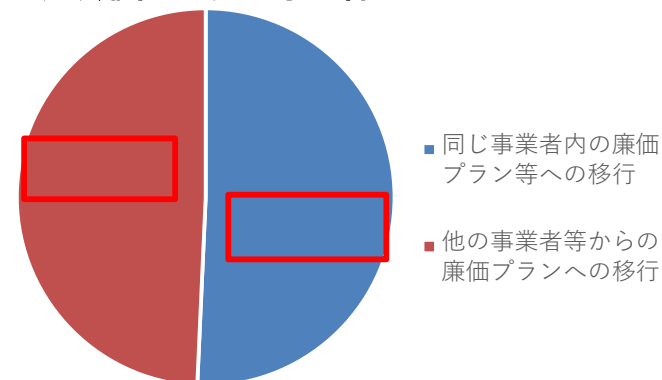
廉価プラン等への同事業者からの移行件数と他事業者等からの移行件数(MNP、単純新規)の比較
(2022年4月～2022年12月合計)*



*:他の携帯電話事業者からの転入件数を1として指数で表示

廉価プラン等への移行件数における同事業者からの移数件数の割合(2022年4月～2022年12月合計)

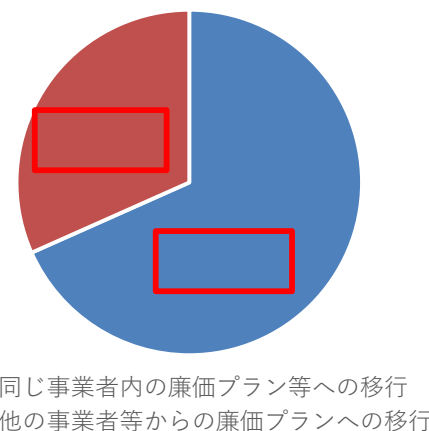
(1) 廉価プラン等全体



(2) UQモバイル及びワイモバイル

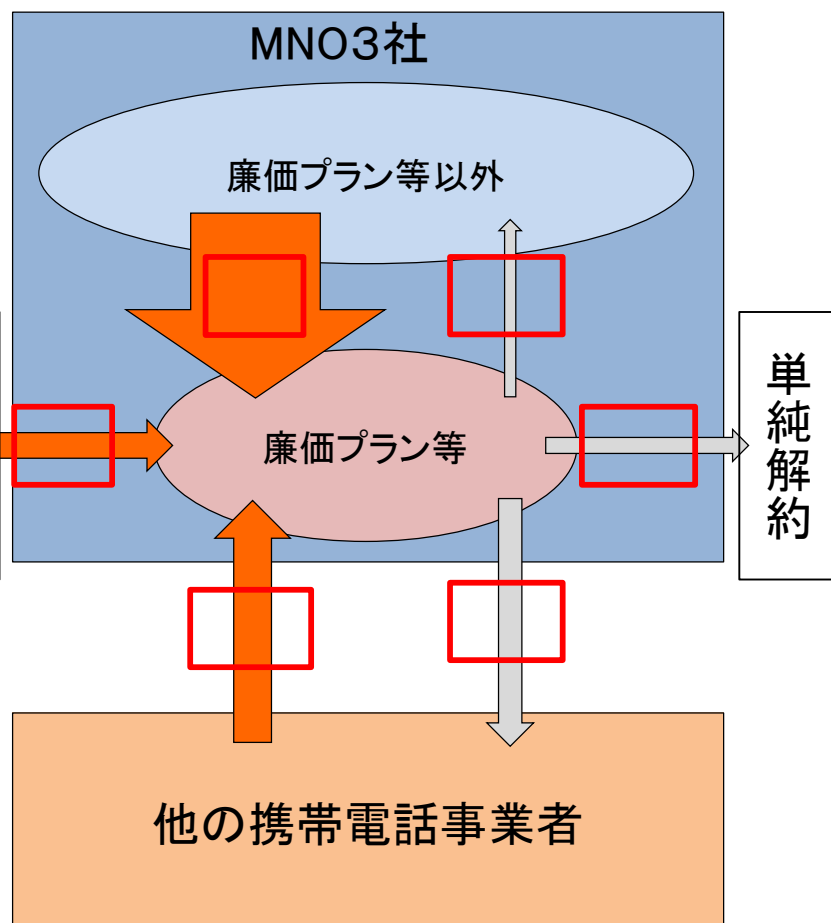


(3) オンライン専用プラン



○ 2021年4月から2022年3月までの転入数の合計の約 が、オンライン専用プランに限れば約 以上が、同じ事業者内の別のプラン等からの転入となっている。

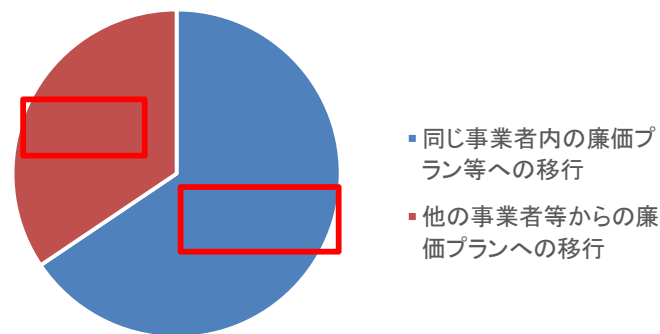
廉価プラン等への同事業者からの移行件数と他事業者等からの移行件数(MNP、単純新規)の比較
(2021年4月～2022年3月合計)*



*:他の携帯電話事業者からの転入件数を1として指数で表示

廉価プラン等への移行件数における同事業者からの移数件数の割合(2021年4月～2022年3月合計)

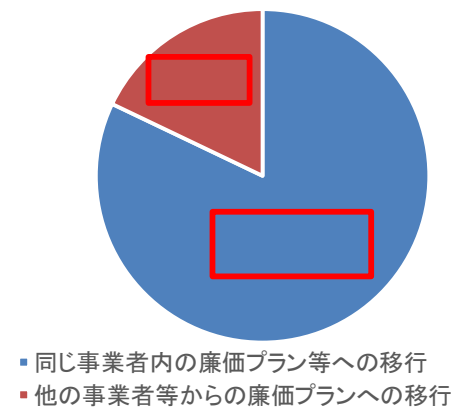
(1) 廉価プラン等全体



(2) UQモバイル及びワイモバイル



(3) オンライン専用プラン



3 違約金のある契約の状況

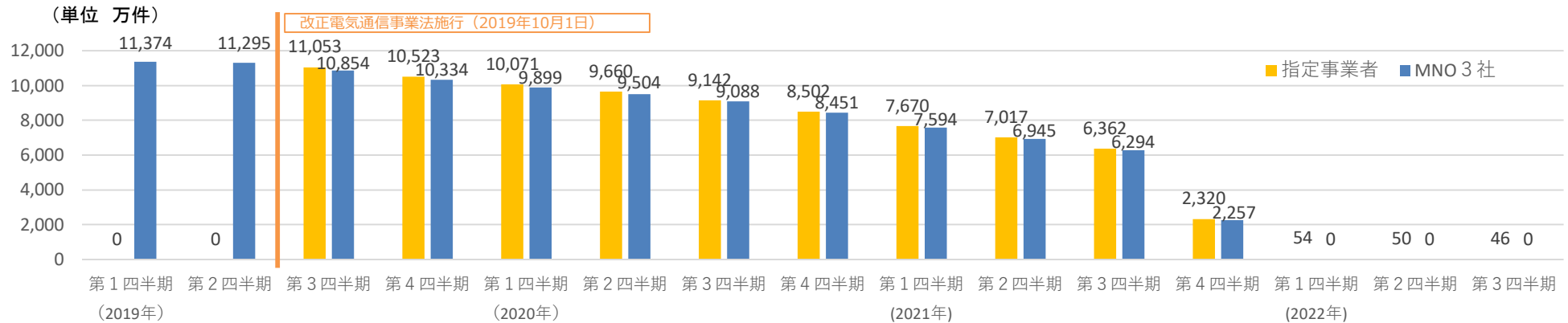
- MNO 3社は、2022年4月までに全ての契約についての違約金を撤廃している。
(NTTドコモは2021年10月より違約金を免除、2022年2月に約款上で違約金を撤廃。ソフトバンクは2022年2月、KDDIは2022年4月に撤廃。)
- こうした状況の中、違約金のある契約は、MNO 3社以外の指定事業者についても継続的に減少しており、2022年度12月末時点で約110万契約（▲24.5%）となっている。
- また、毎月の1件当たりの違約金支払金額はMNO 3社は2022年第1四半期にゼロとなり、それ以外の指定事業者は改正法施行後、継続的に減少している。

違約金のある契約件数の推移

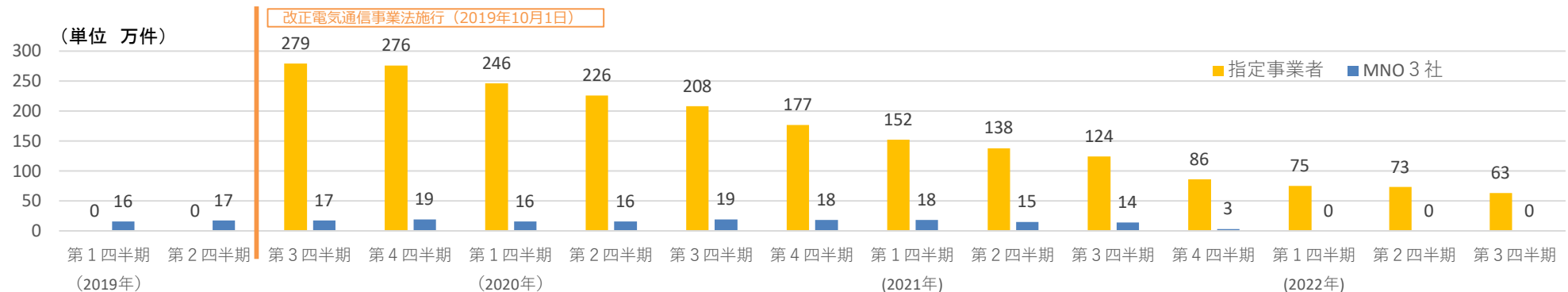
○ 違約金のある契約数は継続的に減少しており、2022年度第1四半期にはほぼゼロになっている。

※：違約金のある契約には事業法第27条の3 不適合契約（既往契約）と事業法第27条の3 適合契約（違約金1,000円の契約）の両方を含む。

違約金のある契約の推移（更新あり）



違約金のある契約の推移（更新なし）



注1) 上図の値は移動電気通信役務の契約に係るものを示す。

注2) MNO3社のうち、KDDIは沖縄セルラー電話株式会社の数を含み、2020年10月以降はUQモバイルの数も含む。

注3) 2019年1Q、2Qの数値については、MNO3社以外の指定事業者から報告を求めているため、指定事業者合計の数値を記載していない。

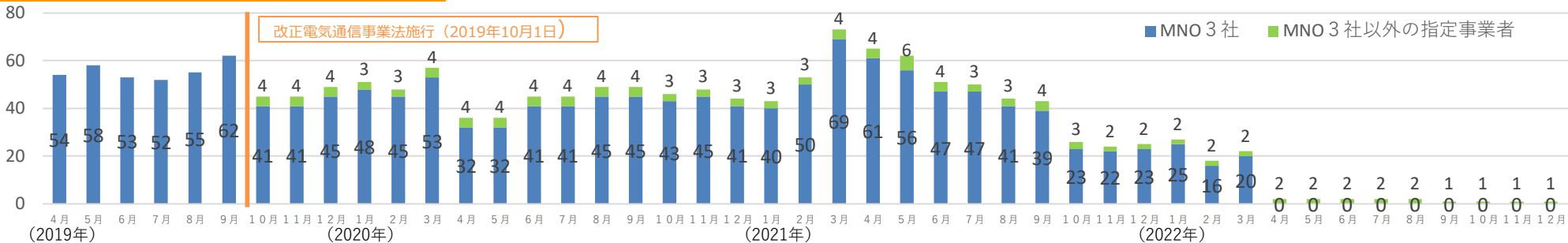
出典：電気通信事業報告規則に基づく報告
及び報告徴収に基づく報告

違約金の支払件数及び支払金額の推移

○ 違約金の支払件数、支払金額、1件当たりの支払金額とも、改正法の施行以降、概ね減少しており、2022年度第1四半期以降はほぼゼロになっている。

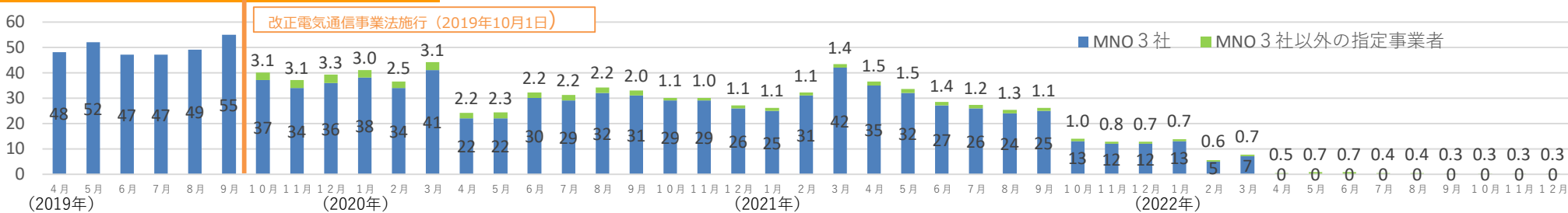
違約金支払件数の推移

(単位 万件)



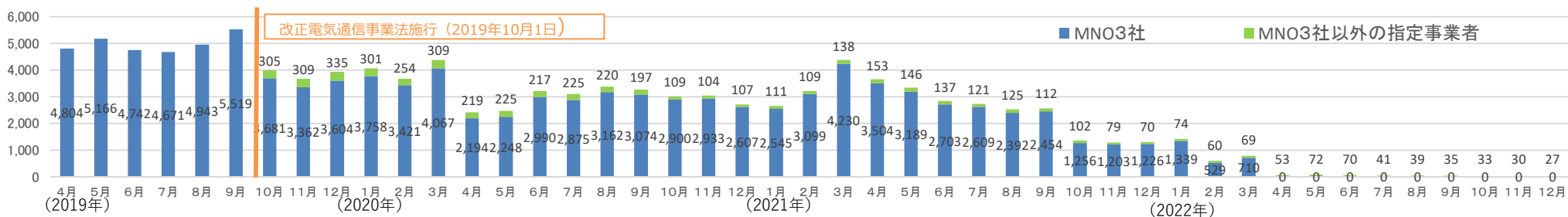
違約金支払金額の推移

(単位 億円)



1件当たりの支払金額

(単位 円)



注1) 上図の値は移動電気通信役務の契約に係るものを示す。

注2) MNO3社のうち、KDDIは沖縄セルラー電話株式会社の数を含み、2020年10月以降はUQモバイルの数も含む。

注3) 2019年4月から9月までの数値については、MNO3社以外の指定事業者から報告を求めているため、指定事業者合計の数値を記載していない。

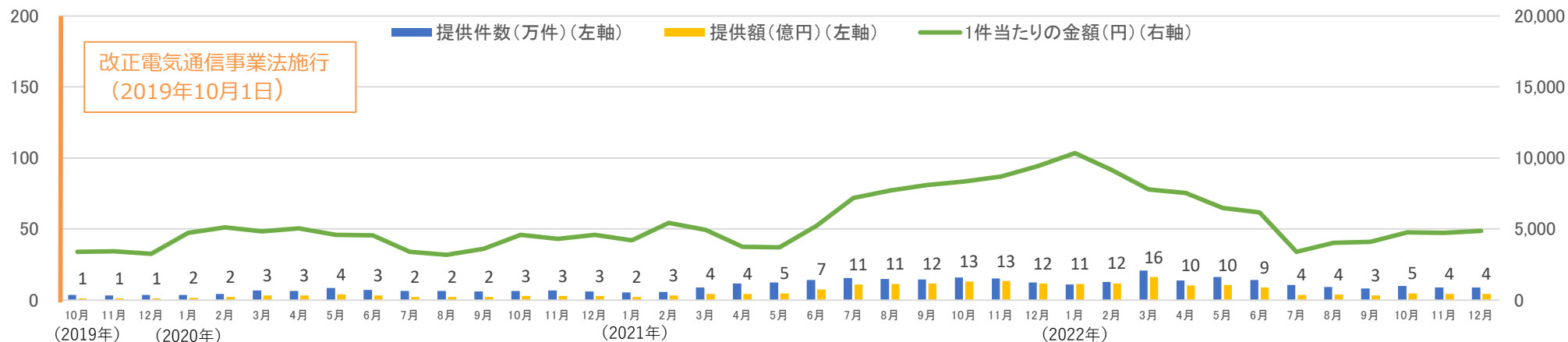
出典：電気通信事業報告規則に基づく報告及び報告徴収に基づく報告

4 その他

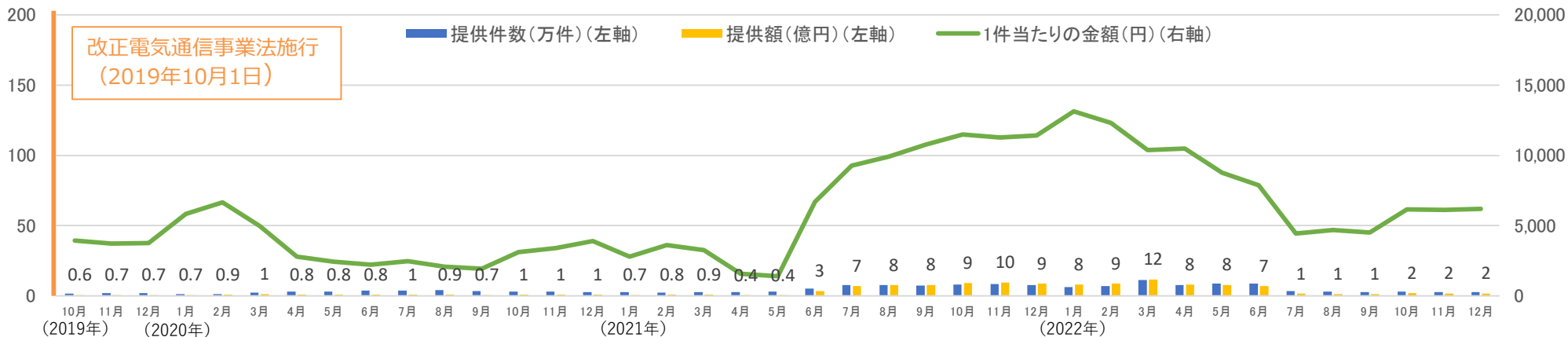
- ・ 指定事業者が行っている新規契約を条件とした利益提供（新規契約をした利用者に対する割引やポイント付与等（端末購入等代金の割引を除く））については、2021年6月以降、件数、提供額とも大きく増加した後、2022年1月をピークに減少している。他方で、販売代理店等が行っている新規契約を条件とした利益提供については、改正事業法施行以降、件数、提供額とも増加傾向にある。
- ・ 指定事業者が行っている継続利用割引等（一定程度通信契約を継続している利用者に対する割引やポイント付与等）については、改正事業法施行以降、全体として減少傾向にある。

○ 2021年6月以降、件数、提供額とも大きく増加した後、2022年1月をピークに減少している。その要因として、一部の事業者が行ったキャンペーン等が考えられる。

新規契約を条件とした利益提供（端末購入等代金の割引を除く）（全体）



新規契約を条件とした利益提供（端末購入等代金の割引を除く）（MNPに係るもの）



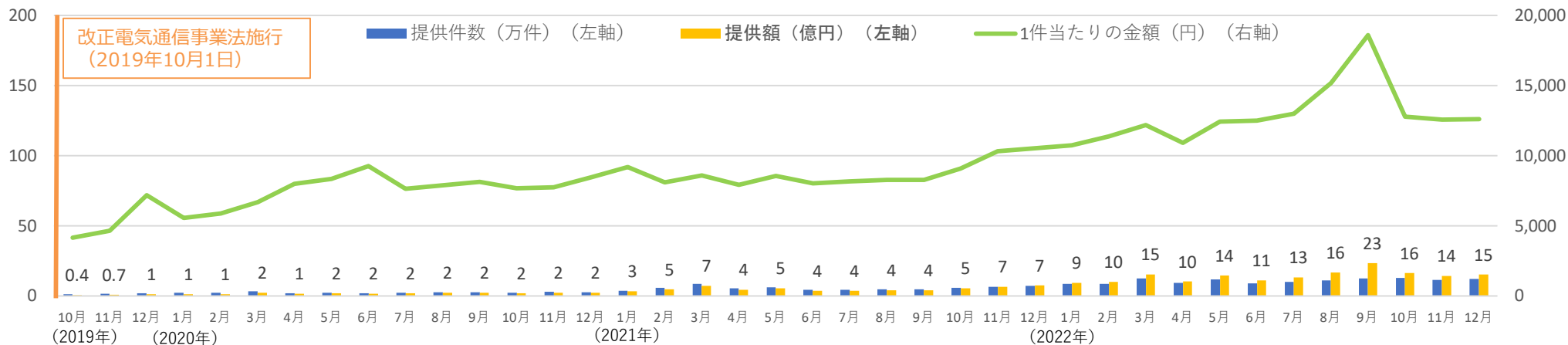
注1) 上図の値は移動電気通信役務の契約に係るものを示す。

注2) MNO3社のうち、KDDIは沖縄セルラー電話株式会社の数を含み、2020年10月以降はUQモバイルの数も含む。

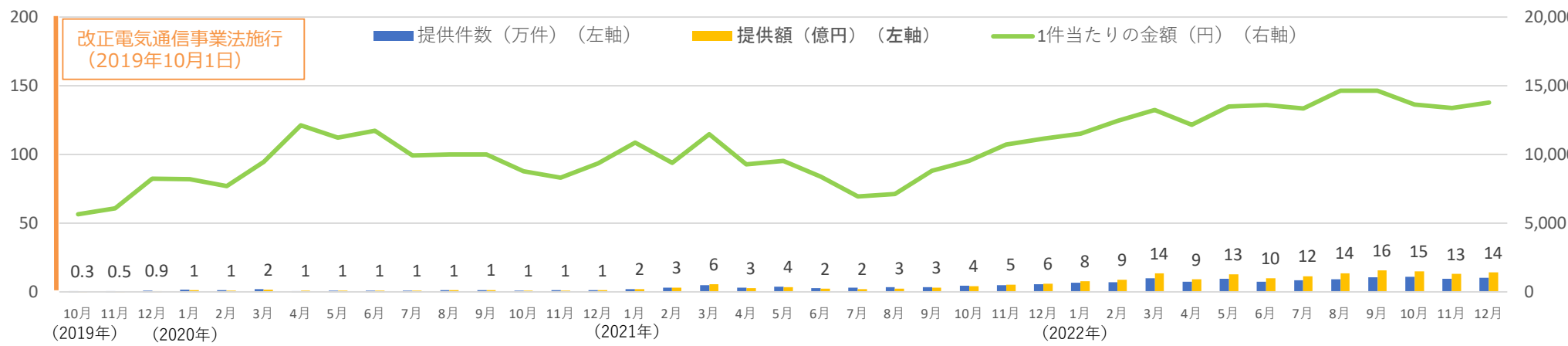
新規契約を条件とした経済的利益提供の推移（代理店等※）

○ 2019年10月以降、件数及び提供額ともに増加傾向にある。

新規契約を条件とした利益提供（端末購入等代金の割引を除く）（全体）



新規契約を条件とした利益提供（端末購入等代金の割引を除く）（MNPに係るもの）



※ 前年度末における営業所その他の事務所の数が100以上の届出媒介等業務受託者に限る（電気通信事業報告規則第4条の5）。

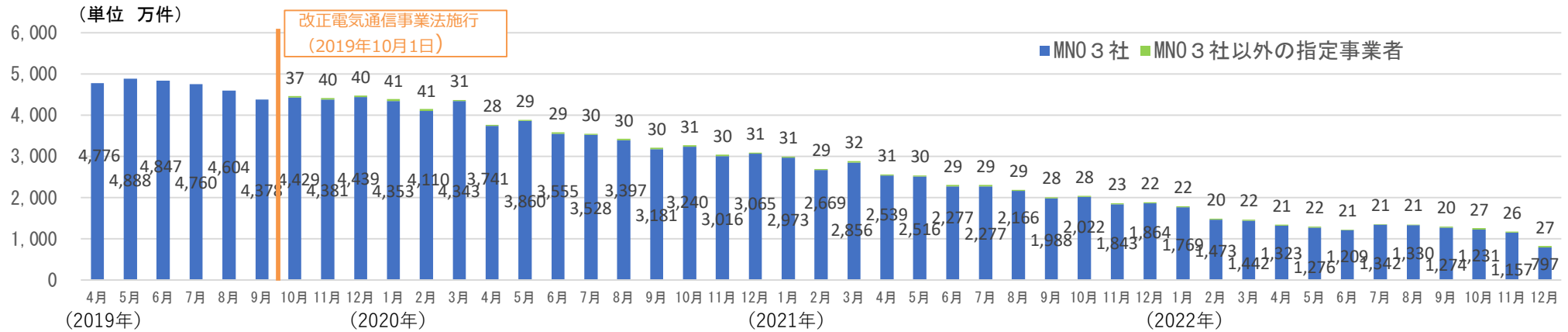
注1) 上図の値は移動電気通信役務の契約に係るものを示す。

注2) MNO3社のうち、KDDIは沖縄セルラー電話株式会社の数を含み、2020年10月以降はUQモバイルの数も含む。注3) 一部データは確認中。

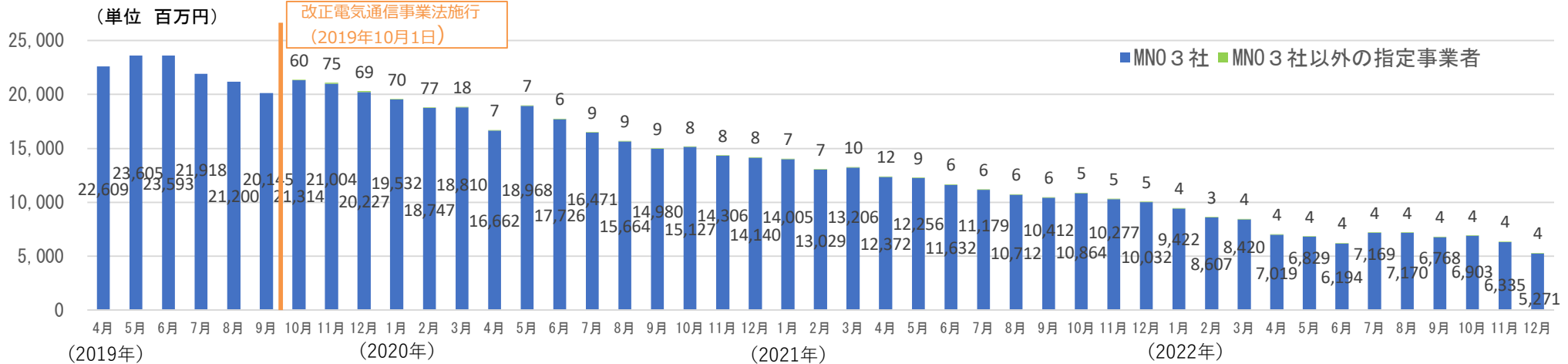
継続利用割引等の適用状況

- 継続利用割引等の適用件数、金額ともに、改正法の施行以降、全体として継続して減少している。

継続利用割引等の適用件数



継続利用割引等の適用金額



注1) 上図の値は移動電気通信役務の契約に係るものを示す。

注2) MNO3社のうち、KDDIは沖縄セルラー電話株式会社の数を含み、2020年10月以降はUQモバイルの数も含む。

注3) 2019年4月から9月までの数値については、MNO3社以外の指定事業者から報告を求めているため、MNO3社以外の指定事業者の数値を記載していない。

出典：電気通信事業報告規則に基づく報告
及び報告徴収に基づく報告

○ モバイル市場の現状関係

- ・ 事業法改正当時は、MVNOは料金面で優位性あり、成長できていたと考えているが、サブブランドの値下げ、オンライン専用プランの登場以降、料金が近接して、その優位性が失われてきている状況である。この料金の近接については、接続料の算定等に関する研究会にて検証を進めていると認識しているが、料金以外の観点においても、MNOから設備を借りている立場であるMVNOは、冗長設備などの設備利用の柔軟性や可用性が低い、あるいはMNOよりサービス提供時期が遅くなることが多いといった、事業構造に起因する差が存在していると認識している。（第38回会合：オプテージ）
- ・ 基本的な競争の状況は変わっていないと思っているが、昨年度に特化したトピックとしては、電気料金の高騰の影響がコスト増という形で影響した。こちらは企業努力という形で吸収をしている状況であり、引き続き、お客様に満足いただけるように努めたいと考えている。（第42回会合：NTTドコモ）
- ・ 他社による値引きが過熱する中、通信事業で顧客を獲得するために、やむを得ず赤字の販売を設定することがあるのは現実である。当然このような状況は望ましくなく、過度な利益競争、利益提供によった競争慣行を根絶し、通信市場と端末市場それぞれにおける公正競争を実現していくことが非常に重要と考えている。（第42回会合：楽天モバイル）

○ 公正な競争環境の確保関係

- 5Gについては、昨年8月から5G SAをスタートしたところ。ARPUについては、大容量プランの加入が順調に拡大をしているところであり、昨年度の頭ぐらいから下げ止まった感じが出ている状況。（第42回会合：NTTドコモ）
- データ通信のトラフィックが多い時間帯については、依然としてMNOとMVNOでは、回線品質にはまだまだ差がある状況と認識している。MNO相当の回線品質とするためには、さらに多くの帯域の確保が必要で、MNOの低料金プランとMVNOの料金プランが料金に近接しているため、今後の競争を考えるとデータ接続料のさらなる低廉化が非常に望ましい。（第42回会合：IIJ）
- MVNOを取り巻く競争環境について、昨今の小売料金の競争の活発化は、利用者にとっては非常に望ましいと考える一方で、価格優位性が薄くなっており、MVNOにとっては、これまで以上に厳しい競争環境になっていると認識している。（第42回会合：オプテージ）
- 品質面では、混雑の時間帯でMNOと同等品質のサービス提供を行うには、依然困難な接続料の水準にあるということ、あと営業面でMVNOが低コストで営業方法の工夫を図っている中で、サブブランドや廉価プランはメインブランド並みの広告出稿や、豊富な店舗数を活用した接客販売等、営業費の使い方にも大きな差があるのではないかと。（第42回会合：オプテージ）
- MNOの各プラン、サービスとの間で厳しい競争環境にあり、至近の転出先としては、サブブランドが最も多い状況。また、サブブランドと廉価プランの転出割合は増加傾向である。（第42回会合：オプテージ）

1. 市場の概況

- 通信市場の動向を見ると、移動電気通信役務の契約数は、改正事業法施行年の12月末時点と2022年12月末時点とを比較すると、▲1.8%減少しているものの、スマートフォン向け契約数は継続して堅調な伸びを見せており、18.1%の伸びとなっており、その3Gや4Gから5Gへのシフトが鮮明となってきている。また、MVNO事業者数は、25.5%の伸びとなっている。
- これらを踏まえると、通信市場においては競争が一定程度機能していると考えられるものの、改正事業法施行後、MNOとMVNOの契約数シェアには大きな変動はなく、特にMVNOの契約者シェアについては、改正事業法施行前までに年1.2%の伸びを見せていたことと比較をすると、その勢いはなくなっている。

2. 料金の動向

- 改正事業法施行前と比較すると、MNO・MVNOとも多様な料金プランを提供している。その結果、利用者による月々の携帯電話会社への通信料金の支払額は、改正事業法施行時点と比べて▲42.0%、支払総額（通信料金、端末代金やアプリ代金等を含んだ総額）で見ても、改正事業法施行時点と比べて▲35.7%となるなど、通信料金の低廉化は大きく進展しているのではないかと見られる。
- 他方で、MNO各社がオンライン専用プランを含めた従来よりも低廉な料金プランを提供することにより、MNOとMVNOの料金プランの料金差が縮まっており、MVNOにとって価格優位性が低下している状況となっている。
- この点、従来のMNOのデータ接続料やモバイル音声卸料金の低廉化に向けた取組に加え、本年6月から、特定卸電気通信役務に係る制度が施行される。こうした制度を活用し、MVNOにおいて創意工夫が促進されることが期待されることから、本WGにおいて、こうした創意工夫の進展度合いについて引き続き注視すべきではないかと見られる。

3. 利用者の動向

- 各社から従来よりも低廉な料金プランの提供が開始されるとともに、MNOにおける期間拘束契約の廃止をはじめとした乗換えの円滑化に向けた各種の取組が実施された結果、利用者が自身のニーズに合った事業者や料金プランをいつでも自由に選択できる環境が整ってきた。その中で、事業者の顧客獲得競争も活発になり、利用者が事業者の乗換えや料金プランを変更する動きが活発化している。
- 改正事業法の施行後、新料金プランへの移行は着実に進展し、本年1月末時点では、「新料金プラン」の契約数は約5,000万に至っていることは、制度見直しの恩恵が利用者に一定程度広がっていることを示している。
- 他方で、一定数の利用者は、新料金プランに移行せずにMNO3社の旧来プランを利用している。移行しない理由について総務省アンケートで調査したところ、「現在利用している料金プラン内容に特に不便を感じていない」旨の回答がある一方で、「手続きを行うことが面倒だから」、「特に理由はない」、「興味がない」といった回答も多くあった。
- これらの利用者に対して制度見直しの恩恵を行き渡らせる観点からは、積極的な理由なく移行しない利用者に対して、自身のニーズに合った移行のメリットや手続きが必ずしも複雑ではないことについて正しく伝えていくことが重要であることから、総務省においては、こうした情報を広く、正しく伝えるため、携帯電話ポータルサイトのコンテンツの充実や消費者団体を通じた周知啓発といった情報の発信を引き続き積極的に行っていく必要があるのではないかと。

4. 公正な競争条件の確保

- MNOの数に限りがある中、創意工夫により独自のサービスを提供するMVNOは引き続き競争の軸として重要な役割を果たすことが期待されることを踏まえると、通信市場において継続的に競争が行われるためには、特に、MVNOにおいて適時に競争し得るサービスの提供が重要と考えられるのではないかと。このため、今後5GSAサービスの普及が見込まれる中、MVNOが競争し得る5GSAサービスを提供できる環境として特にMNOによる5GSAに係る機能開放を受けたサービス提供の状況に関し、国際標準の動向や「接続料の算定等に関する研究会」での議論を踏まえつつ、本WGにおいて、引き続き注視すべきではないかと。